

令和 4 年度 事業報告書



社会福祉法人
甲賀市社会福祉協議会

目 次

I. 法人の組織運営	5
1. 組織強化と人材育成	5
(1) 理事会等の運営	5
(2) 人事評価制度	9
2. イクボス・働き方改革の取り組み	9
(1) 業務の効率化、合理化	9
(2) 年次有給休暇取得率、時間外勤務等の状況	9
(3) 育児・介護休暇の取得状況	10
(4) 一般事業主行動計画の策定	10
(5) 同一労働同一賃金の推進	11
(6) 健康づくりへの取り組み	11
3. 財源の確保、他	11
(1) 社協会費	11
(2) 地域福祉基金	12
(3) 補助金・委託金の確保	12
(4) 善意銀行の運営	13
(5) 中期ビジョン達成へのアクション	14
(6) 水口社会福祉センター改修について	14
(7) 苦情解決	15
(8) 役・職員内部研修会の開催・人権研修の参加	16
(9) 新型コロナウイルス感染予防対応	20
(10) 法人関係会議、行事への参加他	20
II. ご近所福祉でまちづくり	22
1. 地域（町）ご近所福祉推進協議会	22
2. 甲賀市災害福祉ネットワークセンター	24
3. ご近所福祉活動の推進	24
(1) 全体での取り組み	24
(2) 水口地域福祉活動センター	25
(3) 土山地域福祉活動センター	26
(4) 甲賀地域福祉活動センター	28
(5) 甲南地域福祉活動センター	29
(6) 信楽地域福祉活動センター	31
(7) 生活支援体制整備事業	32
(8) 重層的支援体制整備事業	34
4. 地域活動推進助成事業	36
(1) ご近所福祉活動助成	36
(2) ふれあいいきいきサロン支援・助成事業	36
5. 当事者支援	37
(1) 高齢者支援	37
(2) 障がい者支援等	38
6. 団体支援	38
(1) 甲賀市民生委員児童委員協議会連合会	38
(2) 甲賀市介護者の会	40
(3) その他団体支援	41
7. 老人福祉センターなどの指定管理事業	41
(1) 老人福祉センター碧水荘（水口）	41
(2) 老人福祉センターフィランソ土山	42
8. 甲賀市社協ボランティアセンター事業	42
(1) 福祉ボランティア活動の活性化	42
(2) 甲賀市ボランティア連絡協議会支援	44

(3) 福祉学習等開催支援	45
(4) ボランティア助成事業	45
9. 広報、社協表彰状贈呈式、人材育成	45
(1) 広報紙の発行	45
(2) あいコムこうか共同制作「こうふくコロンブス」	46
(3) 社協表彰状贈呈式	47
(4) 実習生の受入れ	47
10. その他受託事業等	48
(1) ファミリーサポートセンター事業	48
(2) こんにちは赤ちゃん事業	49
11. 機器貸出事業	50
III. 「相談・支援」の取り組み	51
1. 生活困窮者自立支援の取り組み	51
(1) 自立相談支援事業・家計改善支援事業の推進	51
(2) 甲賀市学習支援事業「学んでいこうカ」の実施	52
(3) フードバンク事業 e ころプラン	53
(4) 住民同士による外出支援活動の推進	54
2. 生活支援活動	55
(1) 資金貸付事業	55
(2) 地域福祉権利擁護事業（こうかあんしんネットセンター）	56
3. 障がい者への相談支援・計画相談支援の実施	58
4. ひきこもり支援活動	59
5. その他受託事業	60
(1) 障がい児タイムケア事業	60
IV. 福祉作業所の運営	62
1. つちやま福祉作業所	62
2. 甲賀福祉作業所	64
V. 医療・介護・福祉連携への取り組み	68
1. 在宅生活支援部の事業	68
(1) 在宅看取りケア・認知症支援	68
(2) 感染予防対策の取り組み	69
(3) 介護・看護人材の確保と定着	69
(4) 信楽地域包括支援センター事業の運営推進	69
2. 訪問介護事業	70
3. 訪問入浴事業	72
4. 通所介護事業	73
5. 訪問看護事業	75
6. 居宅介護支援事業	76

事業内容を補足する重要な事項がないため（本文に記載済みのため）事業報告の
附属明細書は作成しておりません。

事業統括

本会が法人本部を置く水口社会福祉センターは、昭和 54 年の築造から約 40 年が経過し、施設の老朽化が著しい状態にありましたが、令和 4 年度には、甲賀市の全面的なご支援の下、「水口社会福祉センター整備事業」が進められ、年度内に無事に改修工事が完了いたしました。

本会は、水口社会福祉センターの整備が本格的にはじまろうとした 5 月 28 日、29 日の二日にかけて福祉ホール仮事務所に法人本部を移転し、以後、約 10 か月が経過した後、再び新しく生まれ変わった水口社会福祉センターに本部機能を再移転し、3 月 20 日から通常業務を開始しています。工事の期間中、市民のみなさまや関係者には何かとご不便とご迷惑をおかけいたしました。新しく生まれ変わった水口社会福祉センターは、外観は城下町、宿場町の風景を継承するとともに、内観としては滋賀県産の木材を使用することで、温かみのある親しみやすい福祉施設として完成しました。こうして甲賀市における本会の地域福祉活動の砦が無事に誕生することができましたのも、市民のみなさまや甲賀市をはじめとする関係機関、団体のみなさまのご支援のお陰と深く感謝申し上げます。

私たちはこの福祉施設を大切に、市民のみなさまや関係機関、団体のみなさまと共に連携し、協働しながら、甲賀市の地域福祉推進のため、役職員一同、一丸となって市民のみなさまのために尽力してまいりますので今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、3 年余り続いた新型コロナの感染対策はここへ来てようやく大きな節目を迎えています。しかしながら、令和 4 年度は、未だそうした先の見えない状況下での運営推進となりましたが、本会は甲賀市から新たに受託した二つの新規事業を軸に活動を推進してまいりました。

一つは高齢や障がい、困窮、介護、児童といったそれまでの縦割りではなく、チームとして包括的に受け止め、総合的に寄り添い、支援していく「重層的支援体制整備事業の推進」です。市役所地域共生社会推進課内に本会から 2 名の担当職員を毎日配置し、市関係部署と連携、協働しながら複合的な生活課題を抱える要支援者に寄り添って支援してまいりました。具体的には、複合的な生活課題をかかえる要支援者や世帯に面接や面談を行い、複数の専門機関と連携しながら支援会議を通じてプラン作成を行い支援するとともに、積極的にアウトリーチを行うなど、必要な福祉サービスにつなぎ、伴走的支援を行いました。こうした活動は、本会が従前から進めているご近所福祉活動や多くの関係機関とのつながりの中で有機的に機能することで進められていくものであります。

もう一つの受託事業は、「信楽地域包括支援センターの運営推進」です。甲賀市として初めての民間委託を本会が受託することとなり、地域福祉のノウハウやさまざまな社会資源とネットワークを活かして信楽地域の地域包括ケアシステムの構築に向けて少しでも寄与できるよう努めました。そして、信楽地域の特性や実情を踏まえ、介護予防・日常生活支援事業の推進はもとより、多機関協働による地域包括支援ネットワークの構築や認知症総合支援など、住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられるよう取り組みました。

こうした二つの受託事業を軸に置きながらも各町地域においては、第3次甲賀市地域福祉活動計画（令和3年度～令和6年度）に基づく4つのプロジェクト（①見守り・支えあい・発見・解決 ②ふ・く・しネットワーク ③地域の居場所づくり ④災害にも強い地域づくり）を推進するために、地域ごとに協議会を設置して住民主体の活動として地域福祉を推進するとともに、令和4年度には犬猫等の多頭飼育の問題にもチャレンジしました。

多頭飼育問題の背景には、飼い主の高齢や障がい、社会的孤立といった福祉的課題があり、多頭飼育問題が動物の福祉のみならず、人の福祉の問題でもあるとともに、動物たちが殺処分されないように懸命に保護している個人や団体に大きな負担を強いている現実から、地域の力を借りて人も動物も幸せに暮らせる地域共生社会をめざして、本会と「こうが人福祉・動物福祉協働会議」の主催により、「こうがわんにゃんボランティア養成講座」を全3回開催し、比較的若い層からの関心も寄せていただくことができましたのは一つの成果であると思います。

福祉作業所においては、令和4年度からの福祉作業所の基本理念として定めた「はたらく・つながる・かなえる」を意識して、コロナ禍の影響で作業量の波はありながらも、感染対策を徹底しながら、利用者の暮らす地域と共にある作業所を目指して運営いたしました。

I.法人の組織運営

1. 組織強化と人材育成

(1) 理事会等の運営

《理事会》

①【開催日】5月10日（火）

【内 容】《報告事項》

1. 評議員会の開催結果

《専決事項》

1. 甲賀市信楽地域包支援センター介護予防支援事業運営規程の制定（案）

2. 甲賀市社協へヘルパーステーション（居宅介護）運営規程の一部改正（案）

3. 甲賀福祉作業所就労継続支援B型事業運営規程およびつちやま福祉作業所
就労継続支援B型事業運営規程の一部改正（案）

4. 特定相談支援事業所運営規程の一部改正（案）

《審議事項》

1. 退任に伴う第9期評議員選任候補者の推薦（案）

2. 評議員選任・解任委員会の招集（案）

3. 定時評議員会の招集（案）

※原案通り可決

【場 所】甲賀市まちづくり活動センター まるーむ

【出 席】理事8人、監事2人

②【開催日】6月6日（月）

【内 容】《報告事項》

1. 令和3年度地域福祉基金の活用

《審議事項》

1. 令和3年度事業報告（案）

2. 令和3年度一般会計資金収支決算（案）

3. 経理規程の一部改正（案）

4. 令和4年度一般会計第1次補正予算（案）の同意

5. 第9期評議員選任候補者の推薦（案）

※原案通り可決

【場 所】甲南地域市民センター

【出 席】理事9人、監事2人

③【開催日】7月12日（火）

【内 容】《報告事項》

1. 評議員選任・解任委員会選任結果

2. 定時評議員会の開催結果

3. 会用车（新車）のリース契約の締結

《審議事項》

1. 育児・介護休業等に関する規則の一部改正（案）
2. 公印規程の一部改正（案）

※原案通り可決

【場 所】 フィランソ土山

【出 席】 理事 9 人、監事 2 人

④【開催日】 10 月 11 日（火）

【内 容】《報告事項》

1. 地域福祉権利擁護事業運営監視現地調査
2. 会長及び常務理事の職務執行状況
3. 土山地域グループホームの進捗状況

《専決事項》

1. パートタイマー等就業規則の一部改正（案）

《審議事項》

1. つちやま福祉作業所就労継続支援 B 型事業運営規程の一部改正（案）
2. 甲賀福祉作業所就労継続支援 B 型事業運営規程の一部改正（案）
3. 特定相談支援事業所運営規程の一部改正（案）
4. 給与規程の一部改正（案）

※原案通り可決

【場 所】 かふか生涯学習館

【出 席】 理事 9 人、監事 2 人

⑤【開催日】 12 月 13 日（火）

【内 容】《報告事項》

1. 令和 4 年度中間事業報告並びに中間決算状況
2. 次年度の地域包括支援センター民間委託の方向性

《審議事項》

1. 公印規程の一部改正（案）

※原案通り可決

【場 所】 甲賀市まちづくり活動センター まる一む

【出 席】 理事 9 人、監事 1 人

⑥【開催日】 3 月 7 日（火）

【内 容】《報告事項》

1. 会長及び常務理事の職務執行状況

《審議事項》

1. 令和 4 年度一般会計資金収支第 2 次補正予算（案）
2. 令和 5 年度事業計画（案）
3. 経理規程の一部改正（案）
4. 給与規程の一部改正（案）

5. パートタイマー等就業規則の一部改正（案）
 6. 令和５年度一般会計資金収支予算（案）
 7. 給与規程の一部改正（案）
 8. 積立金管理規程の一部改正（案）
 9. 事務局の組織及び運営に関する規程の一部改正（案）
 10. 退任に伴う第９期補欠評議員の選任候補者の推薦（案）
 11. 評議員選任・解任委員会委員の選任（案）
 12. 評議員選任・解任委員会の招集（案）
- ※原案通り可決

【場 所】 まちづくり活動センター まる一む

【出 席】 理事９人、監事２人

《役員会》

- ①【開催日】 ２月 13 日（月） ※臨時役員会

【内 容】 《報告事項》

1. デイサービスセンターすこやか荘車検切れ送迎車両の使用について

【場 所】 甲賀市まちづくり活動センター まる一む

【出 席】 理事９人、監事２人

《評議員会》

- ①【開催日】 ６月 23 日（木）

【内 容】 《報告事項》

1. 退任に伴う第９期補欠評議員の選任

《審議事項》

1. 令和３年度計算書類（貸借対照表及び収支計算書）及び財産目録並びに事業報告（案）の承認
2. 理事及び監事の報酬等の額（案）の決議
3. 社会福祉充実計画について（案）
4. 令和４年度一般会計収支第１次補正予算（案）の承認

※原案通り可決

【場 所】 甲賀市まちづくり活動センター まる一む

【出 席】 評議員 20 人、理事 ４人、監事 ２人

- ②【開催日】 ３月 23 日（木）

【内 容】 《報告事項》

1. デイサービスセンターすこやか荘車両の車検切れ使用について

《審議事項》

1. 令和４年度一般会計資金収支第２次補正予算（案）
2. 令和５年度事業計画（案）

3. 令和 5 年度一般会計資金収支予算（案）

※原案通り可決

《評議員選任・解任委員会》

①【開催日】6 月 9 日（木）

【内 容】第 9 期本会評議員の退任に伴う第 9 期補欠評議員の選任

【場 所】水口社会福祉センター

【出 席】評議員選任・解任委員（3 人）、常務理事

※原案通り可決

《監事監査、その他の監査》

① 社会福祉協議会定例監査

法人の事業運営・会計業務が関係法令および経理規程の定めに従い、効率かつ適切に行われているか確かめるため、監事による監査を行った。

【開催日】5 月 26 日（木）

【内 容】令和 3 年度 実施事業監査、会計決算監査

【結 果】指摘事項なし

【場 所】水口社会福祉センター

【出 席】監事 2 人、大辻税理士法人 1 人

会長、常務理事、法人運営部長、法人運営副部長、在宅生活支援部長、在宅生活支援副部長、総務課長、総務係長

② その他の監査

○月例監査

法人の会計業務が経理規程の定めに従い、効率的かつ適切に行われているか確かめるため、顧問税理士による監査を毎月行った。また、会計業務の効率化と改善に向けてアドバイスを受ける。

○大辻税理士法人による月次会計監査の実施

・社協一般会計（年間 12 回）

《三役会議等》

①【開催日】5 月 19 日（木）

【内 容】監事会・理事会提案事項について

【場 所】水口保健センター

②【開催日】11 月 28 日（月）

【内 容】理事会提案事項について他

【場 所】旧かわせみ教室

③【開催日】12月22日（木）

【内 容】市健康福祉部との次年度予算について

【場 所】市役所

④【開催日】2月24日（金）

【内 容】理事会提案事項について他

【場 所】旧かわせみ教室

（２）人事評価制度

目標管理については年間を通じた目標とし、事業を推進した。チームによる目標を定めることにより、職員間で連携しながら進めることが出来た。一方、人事考課については、考課者の一部に負担が偏るような現状が見られ、検討課題となっている。

【人事審査委員会】4回

（4月26日、27日、10月26日、27日）

【評価制度説明会】○新任職員研修 4月1日（金）、10月4日（火）

【考課者訓練】○考課者訓練 4月21日（木）

2. イクボス・働き方改革の取組み

今年度も職員の働き方や業務効率化に向けて、強調月間を設けて、業務効率化を図った。また、昨年度に引き続き職員の楽しみやつながりづくりのため、職員互助会との共同企画により、職員のサークル活動の推進を行った。活動内容は職員の興味ある活動内容分野ごとにメンバーを募り、年間を通じて2回以上の活動に対して活動助成を行っている。サークル活動を通じて職員間の親睦や繋がり場となっている。

（１）業務の効率化、合理化

業務効率化シート（業務項目、業務内容、課題、効率化達成状況）を活用して、全部署で取り組み、意識改革や業務改善、合理化を推進した。今年度も業務効率化の推進月間を11月と定め、集中して日頃の業務を見直す機会を設けて効率化を図った。

（２）年次有給休暇取得率、時間外勤務等の状況

① 年次有給休暇の取得については、定期的に取得状況を事業所ごとに報告・把握し、未取得者に対して取得を促しながら全職員に対して奨励を行った。今年度も年間10日以上年次

有給休暇が付与されている全職員について、5 日以上の年次有給休暇を取得することができた。

- ・ 有給休暇の取得率 （平成 27 年度～29 年度）取組み前 3 年間平均（基準）

1 人あたり平均 正規 44.6% パート 62.9%

令和 4 年度 1 人あたり平均 正規 69.8% パート 95.6%

- ② 時間外勤務については、全体的には減少してきている傾向にあるものの、一部の部署については改善しきれていない課題も見られる。

- ・ 時間外労働 （平成 27 年度～29 年度）取組み前 3 年間平均（基準）

1 人あたり平均 7.5 時間

令和 4 年度 1 人あたり平均 5.8 時間／月

- ③ 今年度については、正規職員の離職が高くなったが、パート職員は減少傾向である。

- ・ 平均離職率 （平成 27 年度～29 年度）取組み前 3 年間平均（基準）

正規 3.9% パート 16.2%

令和 4 年度 正規 7.1% パート 13.2%

（３）育児・介護休暇の取得状況

職員が子育てをする上で育児・介護休暇取得が取得しやすいよう、正規・嘱託職員が出産する前後 8 週間は特別有給休暇を付与し、育児介護休業も所得しやすい環境を整えている。

今年度は男性職員の育児休業の取得があった。

○育児休暇取得状況 正規職員 3 名（内男性職員 1 名）

パート職員 2 名

（４）一般事業主行動計画の策定

女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画策定および、次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画をそれぞれ策定し、職員が仕事と子育てを両立させることができるよう、雇用環境を整備するため策定を行っている。女性が多い職場なので、家庭や子育て世代、親の介護などが必要な職員を応援し、働きやすい職場環境を目指している。

《次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画》

計画期間 令和 4 年 4 月 1 日～令和 9 年 3 月 31 日

目標 1 有期契約職員を含む全職員の年次有給休暇の取得率を、年間付与日数 70% 以上とする。

目標 2 所定外労働時間削減のための周知や業務改善への働きかけを行い、時間外労働や休日出勤の多い部署や職員に対して、業務量の見直しや調整・面談等を行い、所定外労働の削減を図る。

《女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画》

計画期間 令和 4 年 4 月 1 日～令和 9 年 3 月 31 日

- 目標 1 介護休業、産前産後休業や育児休業、出産手当金、育児休業給付、産休・育休中の社会保険料免除など、さまざまな制度の周知や情報提供を行い、安心して休業し円滑に職場復帰ができるよう担当職員を位置づける。
- 目標 2 管理職における女性労働者の割合を 50%以上継続し、女性がキャリアアップを図れる体制維持と働きやすい職場環境に努める。

（５）同一労働同一賃金の推進

働き方改革関連法の改革に伴う同一労働同一賃金の観点から、令和 3 年度中に内部協議をし、理事会の承認を経て、令和 4 年度からパート職員にも扶養手当や住居手当、賞与を支給する等改善を行った。（月単位契約の職員は除く）

（６）健康づくりへの取り組み

2 月 17 日（金）、栗東芸術文化会館さきらに於いて、全国健康保険協会滋賀県支部主催による「令和 4 年度健康づくり優良事業所表彰式」が執り行われ、本会が優良事業所として受賞した。本会は健康診断に係る費用は契約時間数の短い職員も含めて全職員を法人負担で行っており、健康アクション宣言に登録していることや健康診断の実施率、要検査や要治療者への医療機関への受診勧奨ができていたなどの健康づくりへの取り組みが評価された。

3. 財源の確保、他

（１）社協会費

社協活動を支える最も大切な自主財源である社協会費は、区一括で納入される地域が増加したことにより、ご協力いただいた世帯数としては増加したものの、総額としては減少傾向が続いており、前年度比 98.7%であった。しかしながら、コロナ禍における経済状況の悪化の中にあっても、通常の賛助会費（一口 3,000 円）以上の特別会費（一口 5,000 円）にご協力いただいた企業が多く、前年対比 281.3%と大幅に増額することができた。今後も区・自治会を単位とすること近所福祉活動の推進、支援を強化することが住民の福祉意識の高揚を図り会費収納増強につながると考える。

社協会費合計 11,094,900 円（前年度 11,232,874 円 対前年度比 98.7%）

① 一般会費（一世帯 700 円）

9,975,400 円（前年度比 98.7%）

納付率 47.0%（全世帯）・区加入世帯納付率 61.0%

（17,654 世帯分／37,515 世帯（全世帯）・25,909 世帯（区加入世帯）

[令和 5 年 3 月末現在]

令和 3 年度

10,056,874 円（前年度比 97.1%）

納付率 44.6%（全世帯）・区加入世帯納付率 63.1%

(16,418 世帯分／36,830 世帯(全世帯) ・ 26,000 世帯(区加入世帯)

② 賛助会費 (一口 3,000 円) 215 件 650,500 円 (前年度比 67.2%)
 ※一口 5,000 円以上は特別会費で集計

③ 特別会費 (一口 5,000 円) 50 件 408,000 円 (前年度比 281.3%)

④ 団体会費 (一口 2,000 円) 17 件 61,000 円 (前年度比 95.3%)

地 域	一般会費		賛助会費		特別会費		団体会費		合計金額 (円)
	世帯数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額 (円)	
水 口	8,376	4,390,280	100	305,500	21	179,000	5	14,000	4,888,780
土 山	1,744	940,000	38	113,000	3	40,000	1	2,000	1,095,000
甲 賀	2,304	1,495,870	25	76,000	5	35,000	1	2,000	1,608,870
甲 南	2,470	1,567,650	22	65,000	7	39,000	1	2,000	1,673,650
信 楽	2,760	1,581,600	26	79,000	10	70,000	4	19,000	1,749,600
市全域	0	0	0	0	0	0	4	18,000	18,000
市外	0	0	4	12,000	4	45,000	1	4,000	61,000
合 計	17,654	9,975,400	215	650,500	50	408,000	17	61,000	11,094,900

(2) 地域福祉基金

【本部福祉基金残高】 12,705,598 円 (前年度 12,688,347 円)
 【町別福祉基金残高】 甲賀地域 5,898,897 円 (前年度 6,935,643 円)
 甲南地域 402,974 円 (前年度 420,735 円)
 信楽地域 2,548,203 円 (前年度 2,548,179 円)

(3) 補助金・委託金の確保

令和 4 年度も甲賀市の市補助金やさまざまな事業の市受託金により法人運営部の人件費・事業費・運営費に充当しているものの、年々厳しい状況が続いている。今後も本会の地域福祉推進における社会的役割を市に伝えながら補助金・委託金の確保につなげたい。

委託事業では、生活支援体制整備事業を継続して受託することで、生活支援コーディネーターやご近所福祉コーディネーターの配置を行い、地域福祉を推進するとともに、今年度新たに重層的支援体制整備事業を受託し、複合的な課題のある要支援者の支援に努めた。また、生活福祉課

の相談事業として、家計相談事業・自立支援調整事業・学習支援事業など継続して受託した。

滋賀県社会福祉協議会からの補助金としては、地域福祉権利擁護事業運営費も継続され、さらに、コロナ関係で貸付相談を行った償還業務にかかる事務費について増額が見込めた。

(4) 善意銀行の運営

① 善意銀行の預託・払出状況

(預 入) 【金銭】 54 件 1,734,282 円 【物品】 28 件

(払 出) 【金銭】 33 件 745,774 円 【物品】 28 件

《善意銀行の預託金銭内訳一覧》

受付地域	件数	金 額(円)
水 口	31	1,210,386
土 山	2	7,634
甲 賀	13	170,433
甲 南	6	38,001
信 楽	7	307,828
合 計	59	1,734,282

《善意銀行の払出内訳一覧》

種別	払い出し先	件数	金 額(円)
使途指定	法人運営部	1	34,000
	甲南地域福祉活動センター	1	37,001
	学習支援事業	1	30,000
	地域福祉課	2	50,796
	つちやま福祉作業所	1	30,000
	水口地域福祉活動センター	2	138,000
	甲賀福祉作業所・つちやま福祉作業所	1	50,000
	子ども食堂支援事業	1	10,977
	ケアプランセンターあい	1	5,000
	ご近所福祉活動助成	1	18,000
	在宅生活支援部	1	30,000
	ヘルパーステーションしがらき・ケアプランセンターしがらき	1	100,000
	ヘルパーステーションみなくち	1	30,000
	デイサービスセンターすこやか荘	1	10,000
	子ども食堂ネットワークこうか	1	100,000
	スマイル甲賀大原っ子	4	16,000
	社会福祉法人甲賀学園鹿深の家	3	25,000
	スマイルきずな・みんなくる会	1	10,000
	e こころステーション甲賀	5	21,000
	合 計	30	745,774

(5) 中期ビジョン達成へのアクション

甲賀市地域福祉計画および甲賀市地域福祉活動計画の策定を受けて、めざすべき甲賀市社会福祉協議会像・役職員像を明確にし、共有し、目標に向かって、組織全体でひとつに進んでいくことを目的として令和3年度に本会の中期ビジョンを策定した。(令和4年度～令和6年度)

令和4年度はテーマ別(①人材確保、人材育成、人材定着 ②財源確保 ③組織運営)にチーム編成し、分野ごとで具体的にできることから取り組んだ。

① 人材確保、人材育成、人材定着チーム

- ・求人サイトへの応募開始
- ・初任者研修実施の検討
- ・有資格者紹介制度、アニバーサリー休暇の導入

② 財源確保チーム

- ・寄附付き自動販売機の設置
- ・ベースアップ加算の取得
- ・勤怠管理システムの導入(効率化)

③ 組織運営チーム

- ・多様な有資格者の把握と人員配置検討
- ・理事会、評議員会、運営協議会の検討
- ・行政への一体的拠点整備への働きかけ

(6) 水口社会福祉センター改修について

① センター改修の進捗等 定例会議

【回数】36回(おおむね2週間に1回)

【場所】現場事務所会議室

【参加者】甲賀市役所 住宅建築課、地域共生社会推進課、辻寅建設、森野設計

【内容】水口社会福祉センターの進捗確認、詳細の打合せ 等

② 福祉ホール仮設事務所への移転

【日程】5月28日(土)、29日(日)

【参加者】辻寅建設、水口エリア職員

【内容】29日:デスク、棚等事務所の移転作業

30日:職場環境調整(電話、ネットワーク、警備等)

③ センター事務所への移転作業

【日程】3月18日(土)、19日(日)

【参加者】辻寅建設、水口エリア職員(保健センター内ケアプランセンターぬくもり、

訪問看護ステーションを含む)

【内 容】18日：デスク、棚等事務所の移転作業

19日：職場環境調整（電話、ネットワーク、警備等）

④ 内覧会

【開催日】3月27日（月）、28日（火）、29日（水）

【参加者】21名

⑤ 利用開始に関する説明会

【開催日】3月30日（木）13:30～15:30

【場 所】水口社会福祉センター 1階 会議室①

【参加者】12団体20名

【内 容】水口社会福祉センター利用に関する説明および内覧

（7）苦情解決

社協が提供する福祉サービスへの苦情を適切に解決するため、社協内に苦情解決責任者、苦情受付担当者、第三者委員会を設置し、福祉サービスに対する利用者の満足度を高め、利用者個人の権利の擁護とサービス提供者としての信頼及び適正性の確保を図ることとしている。また、以下の苦情内容に対して解決改善を重ね、第三者委員への報告を行いさらに改善に努めた。

① 第三者委員会議

【開催日】2月16日（木）

【内 容】令和3年度 苦情内容を説明

第三者委員から意見聴取

【場 所】水口保健センター

【出 席】第三者委員4人、会長、局長、法人運営部長、在宅生活支援部長、総務課長

② 苦情の集計（令和4年度 受付分）

【苦情件数】27件（※複数の分類あり）

【苦情分類】ケアに関すること（8件）、駐車・運転マナー（7件）、職員の態度（6件）

社協会費・募金（6件）その他（5件）

【想定要因】説明・情報提供不足（7件） 職員の態度（10件） サービス内容（3件）

駐車・運転マナー等（7件） その他（12件）

【要望内容】改めてほしい（19件） 話を聞いてほしい（6件） 回答してほしい（7件）

調べてほしい（2件）

※住民や利用者等に対する説明不足や職員の態度、運転マナー、会費や募金等の寄附に関する苦情が多く、寄せられた苦情を職員一人ひとりがしっかりと受け止め、「苦情から学ぶ」という姿勢で、法人全体で改善していく。苦情に関してはその都度、申出された方に丁寧に説明を行うとともに、法人全体での共有を図り、改善に努めた。

(8) 役・職員内部研修会の開催・人権研修の参加

① 新人職員研修

○テーマ「社協とは？」

第1回

【開催日】4月1日（金）

【場 所】水口社会福祉センター

【講 師】甲賀市社会福祉協議会 管理職員

【対 象】令和4年度新規採用正規職員・パート職員

【参加者】9人

第2回

【開催日】10月4日（火）

【場 所】甲賀市まちづくり活動センター まる一む

【講 師】甲賀市社会福祉協議会 管理職員

【対 象】令和4年度新規採用正規職員・パート職員

【参加者】9人

○人事評価制度について

【開催日】4月1日（金）

【場 所】水口社会福祉センター

【講 師】甲賀市社会福祉協議会 法人運営部管理職員

【対 象】令和4年度新規採用正規職員

【参加者】3人

○テーマ「G-Suite 研修」（パソコンシステム）

【開催日】4月25日（月）

【場 所】水口社会福祉センター

【講 師】法人運営部係長・システム担当者

【対 象】令和4年度新規採用正規職員・パート職員

【参加者】10人

② セカンドライフセミナー

【開催日】3月29日（水）

【場 所】水口社会福祉センター

【講 師】西多社会保険労務士事務所 所長 西多正夫氏

【対 象】年度末に満年齢58歳以上に到達する正規職員・嘱託職員

【参加者】8人

③ 人権研修

【開催日】 11 月 15 日（火）
【場 所】 かふか生涯学習館
【講 師】 母と子のいのちを守る会 河村善一氏
【対 象】 所属長以上の職員・役員
【参加者】 41 人

④ 交通安全職員研修

【開催日】 11 月～12 月
【場 所】 各センター・事業所
【内 容】 動画視聴・意見交換研修
【対 象】 全職員（パート職員含む）

○交通安全職員特別研修

【開催日】 11 月 9 日（水）、11 月 30 日（木）
【場 所】 甲賀自動車教習所
【講 師】 甲賀自動車教習所 教官
【内 容】 企業向け安全運転講習（実技）
【対 象】 会用车による事故を起こした職員等
【参加者】 6 人

⑤ セキュリティ研修

【開催日】 11 月 9 日（水）
【場 所】 甲南地域市民センター
【講 師】 損保ジャパン株式会社 滋賀支店法人支社主任 昼間友吾 氏
レーク商事株式会社 水口支店 マネージャー 野崎勇次 氏
【対 象】 所属長以上の職員

※以下課員については、所属長より伝達研修

全職員へは、10 月 28 日に標的型攻撃メール訓練を実施

⑥ 労務管理リーダー研修

○テーマ 福祉職場における労務トラブル

【開催日】 3 月 16 日（木）
【場 所】 甲賀市まちづくり活動センター まる一む
【講 師】 西多社会保険労務士事務所 所長 西多正夫氏
【対 象】 所属長以上の職員

⑦ 虐待防止研修

【開催日】 9 月～10 月
【場 所】 各センター・事業所
【内 容】 動画視聴・意見交換研修

【対 象】全職員（パート職員含む）

《人権研修、会議（外部開催）への参加状況》

参加日	研修名・内容	実施場所
6/7（火）	甲賀市新就職者対象人権研修 「ワーク・ライフ・バランスとコミュニケーション ～アンガーマネジメントの活用～」	オンライン開催
6/15（水）	滋賀県高齢者虐待対応研修	甲賀市役所甲南庁舎
6/23（木）	身体拘束ゼロセミナー	オンライン開催
6/27（月）	経営者・管理者等セミナー 「経営者に求められるハラスメントのない職場づくり」	オンライン開催
7/14（木）	経営者トップ研修「ヘイトスピーチに対するインターネット対策」	あいこうか市民ホール
7/15（金）	医療福祉従事者 権利擁護支援研修	オンライン開催
11/8（火）	企人協人権フォーラム 「発達障がい者の雇用・就労支援と職場での発達障がいの気づきと課題解決のための支援」	オンライン開催
11/14（月）	甲賀市高齢者虐待防止研修	甲賀市役所
11/17（木）	甲賀市在宅介護基礎研修 「高齢者虐待・成年後見制度」 「甲賀市の認知症対策、認知症地域支援推進員の活動」	甲賀市役所
11/24（木）	甲賀市企業内人権啓発窓口担当者第1回ステップアップ連続講座「インターネットと人権」	オンライン開催
11/29（火）	滋賀県障害者虐待防止・権利擁護研修	県立長寿社会福祉センター
12/15（木）	滋賀県高齢者虐待防止セミナー 「私も虐待をした 無意識に行っていた祖母への虐待」	守山市民ホール
1/19（木）	甲賀市企業内人権啓発窓口担当者第2回ステップアップ連続講座・企人協従業員対象人権研修「松浦武四郎とアイヌの人々」	オンライン開催
2/13（月）	滋賀県人権相談ネットワーク協議会講座 「相談対応が限界を迎えるとき」	オンライン開催
2/18（土）	部落解放研究第30回滋賀県集会	県立文化産業交流会館
3/7（火）	介護サービス事業所・施設管理者等研修会 「高齢者の人権」「組織課題の明確化と業務効率化」	オンライン開催
3/12（日）	甲賀市同和・人権事業促進協議会 支部合同研修 「水平社博物館視察研修」	奈良県御所市

《交通安全運動の実施》

① 交通安全無事故無違反運動

【期 間】10月1日（土）～3月31日（金）

【対 象】 甲賀市社会福祉協議会全事業所 全職員（正規・嘱託・パート）

② “4時からライト”点灯運動の実施

【期 間】 9月23日（金）～3月21日（火）

③ 全国交通安全運動期間における通行車両への安全運転啓発

交通安全のぼり旗による通行車両への啓発（課長級以上）

【期 間】 春と秋の全国交通安全週間の期間中

《安全衛生委員会の開催》 会場：水口社会福祉センター・福祉ホール（オンライン併用）
対象：局長、部長、衛生管理者1人 安全衛生推進者14人

実施日	主な内容
4/22（金）	・自律神経について ・安全衛生推進者、衛生管理者の役割について ・安全衛生方針について
5/27（金）	・五月病との付き合い方について ・事業場の巡視チェックについて ・安全衛生方針について
6/24（金）	・マスクの着用について ・全国安全週間について ・労災事故の発生、再発防止策の検討
7/5（火）	・福祉ホールへの移転後の状況（本部勤務者のみ）
7/29（金）	・熱中症の予防について ・全国安全週間について ・労災事故の発生、再発防止策の検討
8/26（金）	・今シーズンのインフルエンザ対策について ・交通事故、労災事故の状況と再発防止について
9/30（金）	・コロナウイルス感染症の罹患後の症状について ・交通事故、労災事故の状況と再発防止について
10/28（金）	・コロナウイルス 療養期間・自宅待機期間の変更について ・労災事故の発生、再発防止策の検討
11/25（金）	・コロナウイルスと季節性感染症の同時流行への備えについて ・労災事故の発生、再発防止策の検討
12/23（金）	・脳卒中について ・各事業場の状況について
1/27（金）	・花粉症について ・各事業場の状況について
2/24（金）	・ヒートショックについて ・安全な職場づくり、冬季の対策について
3/24（金）	・マスク着用の考え方について

(9) 新型コロナウイルス感染予防対応

① 特別有給休暇の付与

新型コロナウイルス感染症にかかる小学校等の臨時休業により、業務を休まざるを得なくなった職員（正規・嘱託・パート職員）に対して、特別有給休暇の付与を行った。
付与分については学校等休業対応助成金の申請を行い助成を受けた。

【期 間】4月～3月（うち7月～9月申請分）

【対 象】正規：8人 パート：5人 計13人

【付与日数】正規：45日 パート：18日＋5時間

【助 成 額】526,340円

② 新型コロナウイルス感染症予防に関する職員周知、感染防止対策等

- ・健康観察票の記入促し ・検温 ・手洗い ・アルコール消毒
- ・飛沫防止仕切り板の設置 ・マスク着用 ・咳エチケット等の励行

③ 職員の外出（研修）・出張、イベント等について、延期、中止及びオンラインの活用

(10) 法人関係会議、行事への参加他

(会長等)

	主な会議、行事名等
1	甲賀市視覚障害者福祉協会総会
2	国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会甲賀市準備委員会
3	甲賀市ボランティア連絡協議会
4	甲賀市水口町赤十字奉仕団総会
5	滋賀県共同募金会評議員会
6	ゆうゆう甲賀クラブ大会・指導者研修会
7	甲賀市あんぜん・あんしんなまちづくり市民会議総会
8	滋賀県共同募金会配分委員会 滋賀県共同募金会 役員研修会
9	民生委員推薦会委員研修会
10	甲賀市防災会議
11	滋賀県共同募金会配分委員会
12	甲賀市戦没者追悼式
13	甲賀市民生委員推薦会
14	甲賀市地域安全安心ネットワーク会議
15	滋賀県共同募金会評議員会
16	甲賀市赤十字奉仕団連合会研修会
17	滋賀県身体障害者福祉大会
18	甲賀地区更生保護女性会総会 全国植樹祭
19	甲賀学園六十周年記念式典
20	赤い羽根共同募金メッセージ伝達式
21	滋賀県社協70周年記念式典
22	甲賀市子ども・子育て応援団会議
23	甲賀市同和・人権事業促進協議会事業指導委員会
24	ゆうゆう甲賀クラブ信楽支部大会
25	甲賀市民生委員退任式

26	甲賀市民生委員委嘱状伝達式
27	滋賀県社協会長・局長合同会議
28	土山地域田舎の地域づくりフォーラム
29	甲賀市20歳のつどい
30	甲賀地域ご近所福祉フォーラム
31	甲賀市同和・人権促進協議会支部合同研修 甲賀市介護保険運営会議
32	日本赤十字社滋賀県支部評議員会 甲賀市視覚障害者福祉協会総会
33	健康づくり優良事業所表彰式
34	甲賀市地域福祉計画審議会 甲賀市戦没者追悼式
35	共同募金運動メッセージ伝達式
36	滋賀県社会福祉学会
37	滋賀県社協会長会トップセミナー
38	甲賀市戦没者追悼式
39	甲賀市子育て応援団会議
40	国民スポーツ大会・全国身体障害者スポーツ大会甲賀市実行委員会

Ⅱ. ご近所福祉でまちづくり

1. 地域（町）ご近所福祉推進協議会

第3次甲賀市地域福祉活動計画に基づく4つのプロジェクトを推進するために、地域のニーズや実態に応じ、地域ごとに協議会を設置した。協議会のメンバーは、自治振興会や区自治会、また、各分野で活動をされている方などが集まり、地域の課題解決に取り組む自立した住民活動となるように支援した。

① 水口地域ご近所福祉推進協議会

【構成】6人（会長及び副会長2人 協議員4人）（民生委員児童委員協議会、NPO 団体、子ども食堂グループ、介護予防ミニサークル、e ころステーション水口、活動者）

【会議】定例会 毎月1回 年間12回

【活動内容および成果】

- ・水口地域ご近所福祉推進協議会活動計画「みんなでつくろうご近所福祉」の発行（6月1日発行 水口地域組回覧 1300部）
- ・水口地域ご近所福祉研修会 サロンスタッフ交流会の開催（7月27日開催 サロン代表者32名参加）
- ・水口地域生活支援ボランティア養成講座（3回連続講座）の開催（2月9日、2月21日、3月9日開催 参加登録56名 延べ121名参加）

② 土山地域ご近所福祉推進協議会

【構成】11人（会長及び副会長2人 協議員9人）（自治振興会、民生委員児童委員、防災組織、福祉団体、ボランティアグループ当事者団体、行政など）

【会議】コア会議含め 年間24回

【活動内容および成果】

- ・高齢者自らが行うサロンの検討と実施
- ・関係団体との連携
山内自治振興会との災害をテーマにした地域づくりで交流会の実施
- ・「土山地域田舎の地域づくりフォーラム」の実施
テーマ：住民と行政の協働による災害からの復興・復旧 12月18日（日）
- ・広報誌の発行（[土山がニコリ]の発行）
- ・福祉推進員研修会・情報交換会（共催）
福祉推進員の役割、ご近所福祉推進協議会について、重層的支援体制整備事業の周知

③ 甲賀地域ご近所福祉推進協議会

【構成】15人（会長及び副会長2人 協議員13人）

（自治振興会、福祉関係団体、高齢者福祉施設、ボランティアグループ、行政）

【会議】コア会議含め 年間24回

【活動内容および成果】

- ・第5回甲賀地域ご近所福祉フォーラムの開催 1月14日（土）
（テーマ：居場所の大切さ 気軽にできるサロンのつくり方）
- ・福祉活動紹介（甲賀図書情報館ギャラリーにてパネル展示を実施）
3月22日（水）より3週間
- ・自治振興会主催事業（大原自治振興会主催研修・会議等）への参画

④ 甲南地域ご近所福祉推進協議会

【構成】16人（会長及び副会長3人 協議員13人）（民生委員児童委員、区役員、地域福祉協議会、ボランティアグループ、おたっしや広場関係者、子ども食堂、行政）

【会議】年間11回（役員会 年間12回）

【活動内容および成果】地域の課題把握や今後の方向性を協議

- ・第3次地域福祉活動計画で取り組む“災害にも強い地域づくり”を目指し、地域の実態把握のため自治振興会と協働しヒアリング調査を実施
※対象：自治振興会および各区自主防災組織（全学区）
- ・拡大会議（ヒアリング結果まとめ）
- ・災害福祉（平常時の見守り活動）の出前講座用媒体作成
- ・内部研修（協議員および地域マネージャー参加）

⑤ 信楽地域ご近所福祉推進協議会（信楽地域見守りネットワーク活動推進委員会）

【構成】20人（委員長及び副委員長2人 委員18人）

（区長、自治振興会、区健康福祉会、民生委員児童委員、福祉団体、生活支援ボランティアグループ、当事者団体、障がい者団体、行政、地域マネージャー）・・・平成26年4月に信楽地域見守りネットワーク活動推進委員会として発足

【会議】本会議 年間6回、コア会議 年間6回、オレンジカフェ運営部会 年間5回

【活動内容および成果】

信楽地域内の子ども・子育て家庭・障がい者・高齢者等で日常的な見守りの必要な世帯の孤立化を予防するとともに、生活上の困りごとや緊急事態を早期に発見する見守りの仕組みづくりを各区・健康福祉会等の小地域単位で推進することを目的に、信楽地域全域の推進会議を各区・健康福祉会・自治振興会・各種団体等の代表者の参画を得て設置し協議を進めた。

- ・見守り・支えあい活動についての意見交換、協議検討
- ・各地区・団体等の見守りに関する活動について情報交換
- ・信楽地域の福祉課題である認知症の啓発と対応を目指して、児湯宴会と啓発事業の実施
- ・見守りささえあい活動学区交流会（10月）
- ・オレンジカフェの開催運営

2. 甲賀市災害福祉ネットワークセンター

平常時における福祉を視点とした防災活動の推進およびネットワークづくり、災害時における災害福祉ボランティアセンターの設置・運営を一体として進めていく事を目的に「甲賀市災害福祉ネットワークセンター」設置し、防災と福祉の活動を推進した。

① 甲賀市災害福祉ネットワーク協議会活動支援

【構成】委員 7 人（災害福祉ボランティア登録者、区・自治会、自治振興会、地域福祉協議会自主防災会、防災士連絡会、民生委員児童委員協議会、赤十字奉仕団、ボランティア連絡協議会、国際交流協会）※所属は重複

【会議】・定例委員会 毎月 1 回

・委員長・事務局打ち合わせ 毎月 1 回

【活動内容および成果】

- ・甲賀市赤十字奉仕団連合会 一日研修会の講師を担当
(9 月 13 日 かふか生涯学習館にて開催 参加者 90 名)
- ・甲賀市総合防災訓練への参画
(11 月 13 日 滋賀県立水口高等学校 体育館ほかにて開催)
- ・災害福祉ボランティア研修会の開催
(12 月 4 日 碧水ホールにて開催
講師：高島市災害ボランティア活動連絡協議会事務局 参加者 84 名)
- ・高島市災害ボランティア活動連絡協議会との交流会の開催
(3 月 28 日 高島市社会福祉協議会にて開催)
- ・福祉を視点とした防災学習会の開催
(講師：視覚・聴覚に障がいのある当事者、車いすユーザー、知的障がい者相談員)
- ・甲賀市と甲賀市災害福祉ネットワークセンターの設置及び運営等に関する協定締結

3. ご近所福祉活動の推進

(1) 全体での取り組み

各地域福祉活動センターに生活支援コーディネーターを配置して、ご近所福祉活動の推進支援、個別や地域の課題解決支援に取り組んだ。コーディネーターはコミュニティとの関わりを通じた住民課題を具体的に解決する職員として、関係機関との連携やネットワークづくりなどの推進した。

また、地域での見守り支えあい活動を推進するため、地域福祉活動センターにて支援活動を実施した。

① 子ども食堂開設支援・運営支援

子どもたちを地域で見守り育てる「子ども食堂」の開催支援を行い、子ども食堂ネットワークこうかの自主的な活動および各食堂を継続できるよう、それぞれの課題や情報共有の場として代表者会議およびスキルアップ研修会を開催した。

また、企業や団体等への啓発活動としてチラシおよび広報発行等の支援。

	名 称	場 所
1	夢の学習 水口料理教室	鹿深ホール、綾野小学校
2	夢の学習 土山料理教室	土山開発センター、各公民館など
3	夢の学習 甲賀料理教室	各公民館
4	夢の学習 甲南料理教室	甲南町内公民館・小中学校
5	夢の学習 信楽料理教室	信楽町内公民館・小中学校
6	たんぼぼ食堂	伴谷公民館
7	アモーレ子ども食堂	虫生野会館
8	かしわぎ「わいわい食堂」	柏木公民館
9	あやの子ども食堂	あやのみんなの居場所
10	smile door	虫生野会館
11	宇川みんなのはなまる食堂	宇川会館
12	こども食堂サボテン	牛飼公民館、貴生川公民館
13	みんなの食堂ひとやすみ♪ひとやすみ	名坂公民館
14	いろどり食堂	岩上公民館
15	子ども食堂てるてるぼうず	フリースペースKANAME（土山）
16	スマイル甲賀大原っ子	市営住宅大原団地集会所
17	ふか輪っこ	深川公民館
18	おいで！そまっ子運営委員会	杉谷公民館
19	池田団地みんなの食堂	池田団地自治会館
20	大丈夫食堂	江田福祉会館
21	ミハルカス	旧山内保育園
22	みんなの食堂・赤い屋根	杉谷新田古民家
23	にん（忍）・にん（人）広場	竜法師公民館

昨年度に比べ4か所増

（２）水口地域福祉活動センター

① ご近所福祉活動推進・支援

○ふれあいいきいきサロン活動支援

【対 象】48カ所

【内 容】サロン開催に向けての相談支援及び内容検討

当日使用するレクリエーション用品の貸し出し

○貴生川地区自治振興会

・見守り・ささえあいネットワーク 全体会 年3回

各班分けを行い、貴生川地区の推進の体制づくりを行う。

・ご近所福祉勉強会、福祉講座 3回

ご近所福祉活動の必要性と他地域の見守り支え合い活動についての講話

見守り活動の先進地の取り組み紹介、講師の依頼・調整

・サロンスタッフ研修会 1回

サロンの目的と今後のサロンのあり方についての講話、他地域のサロン活動紹介

○かしわぎ自治振興会

・かしわぎ地区防災推進会議への参加・活動支援

② 居場所づくり

○障がい児者の居場所づくり支援

【対 象】 みんなの交流サロン「てとてと」

【内 容】 運営に関する相談・支援、サロン開催の調整

○不登校児童の居場所づくり支援

【対 象】 子どもの居場所「ばあちゃんち」

【内 容】 新規活動立ち上げの相談・支援、助成金申請支援

○女性の居場所づくり支援

【対 象】 女性のつながりサロン

【内 容】 新規活動の相談・支援

○地域の居場所づくり支援

【対 象】 みんなのカフェ「いろり」

【内 容】 新規活動場所立ち上げの相談、活動支援

③ その他支援活動など

○水口小学校コミュニティスクールにかかる説明会

【開催日】 12月7日（水）

【内 容】 設立までの経緯と意見交換

【場 所】 水口小学校

（３）土山地域福祉活動センター

① ご近所福祉活動推進・支援

○地区福祉懇談会および地域活動支援

【対 象】 住民（民生委員児童委員・福祉推進員など）

【参 加】 社協延べ3人

【開 催】 西野区

② ご近所福祉研修

○福祉推進員・サロンスタッフ研修

【開催日】6月4日（土）

【内 容】福祉推進員の役割、サロンで使えるビンゴゲーム
重層的支援体制整備事業の周知

【場 所】老人福祉センターフィランソ土山

【参 加】21人、社協2人

③ 自治振興会活動支援

○土山学区自治振興会

地域福祉部会議 3回

④ 居場所づくり

○「おいでおいでサロン・スマイル」

【趣 旨】障がいのある方の余暇活動・仲間づくり・お昼ご飯づくりなどを通して、楽しさや生きがいをもてる居場所とする。

【開 催】毎月第2土曜日・毎月第4土曜日

【内 容】昼食づくり、ゲーム、おしゃべりなど

【場 所】土山町内の空き家

【参 加】延べ人数120人 社協延4人

○障がい児の居場所 「ほっとケーキ」

【趣 旨】障がい児の長期休暇中の仲間づくり・居場所づくりを通して、障がい当事者同士と保護者同士のつながりをつくる。

【開催日】7月20日（水） 12月23日（金） 3月24日（金）

【内 容】保護者交流、ビンゴ大会、工作、ボランティアグループによるマジックショー

【場 所】土山開発センター

【参 加】延べ人数39人 社協延べ7人 ボランティア延べ5人

○子どもの居場所「みんなで楽しもう会」

【趣 旨】学校が終わった後の子どもの遊び場づくり、地域のボランティアや保護者との交流の場

【開 催】年6回

【内 容】屋内ゲーム、七夕飾り作り、クリスマス会、遠足、土山マラソン応援、染め体験

【場 所】清和会館、青土ダムエコーバレイ、土山マラソンコースなど

【参 加】延べ人数約170人

【協 力】民生委員児童委員、ボランティア、保護者など

⑤ その他支援活動

○清和会館運営委員会への参加

【開催日】4月26日（火）

【場 所】清和会館

【内 容】事業報告、事業計画等

○地域密着型特養リトルブック運営推進会議への参加

【開催日】6月22日（水） 10月26日（水） 3月22日（水）

【場 所】特別養護老人ホームリトルブック

【内 容】運営状況の共有や地域との連携

○子ども子育て応援団ネットワーク会議への参加

【開催日】7月13日（水）

【場 所】土山地域市民センター 会議室

【内 容】子育て関係機関との情報共有、連携

（４）甲賀地域福祉活動センター

① ご近所福祉活動推進・支援

○ふれあいいきいきサロンの運営支援

【対 象】30 か所

【内 容】サロンの運営に関する相談支援のほか、物品の貸出しやコーディネートを行った。
ご近所福祉フォーラム（甲賀地域ご近所福祉推進協議会主催）をサロン交流会として開催。

○子ども食堂の運営支援

【対 象】1 か所

【内 容】運営に関する相談支援を行った。

○e こころステーションの運営支援

【対 象】1 か所

【内 容】運営に関する相談支援を行った。

○女性のつながりサロンの運営支援（令和4年1月より立上げ）

【対 象】1 か所

【内 容】運営に関する相談支援を行った。

② 甲賀地区社協（基金運営委員会）活動

○甲賀地区社協（基金運営委員会）の開催

【開催日】①5月26日（木） ②3月15日（水）

【内 容】基金運用報告および運用計画について

新設事業「こうか福祉基金助成事業」の開催について

○こうか福祉基金助成事業 （地域福祉基金充当）

【趣 旨】甲賀地域の福祉向上をめざして、団体やグループが主体的に実施する福祉活動へ助成を行う。

【対 象】各区・自治会、甲賀地域在住の住民を含むメンバーで構成される団体等

【助成額】各団体からの申請に基づき地区社協（基金運営）にて決定する

【実 績】6件（①拝坂自治会見守り隊 ②ササユリの里づくり委員会 ③ウィリングハーツ農園 ④鹿深台健康福祉会 ⑤宅食 五月の会 ⑥甲賀市商工会 甲賀支部）

○福祉関係団体助成事業 （地域福祉基金充当）

【趣 旨】甲賀地域の福祉向上のため、甲賀町内を拠点に活動する福祉関係団体が行う主体的な活動に対して助成

【対 象】甲賀町内を拠点に活動する福祉団体

【助成額】地区社協（基金運営）にて決定する

【実 績】団体（ゆうゆう甲賀クラブ・身体障害者更生会・更生保護女性会・赤十字奉仕団 ボランティアグループ ささえ愛・ほのぼのグループ・民生委員児童委員協議会）

③ その他支援活動など

○人権推進協議会甲賀支部への参加

【参 加】①7月28日（木） ②3月17日（木）

【場 所】かふか生涯学習館

【内 容】部会会議

○甲賀荘地域密着型介護サービス運営推進会議への参加

【参 加】①5月25日（水） ②7月13日（水）

【場 所】小規模多機能ホームあかり

【内 容】事業所の活動状況の報告・評価、地域との連携

（５）甲南地域福祉活動センター

① ご近所福祉活動推進・支援

○ふれあいいきいきサロン運営支援

【対 象】おたっしや広場 44か所

【内 容】おたっしや広場の活動・運営相談支援、物品の貸し出し

おたっしや広場イベント時の主催者の相談及び支援

コロナ禍で集まることができない中、新たな見守り活動等の啓発

○子育てサロンの運営支援

【対 象】子育てサロン 2 か所

【内 容】子育てサロンの新規開設活動・運営支援・おもちゃ等の貸し出し
助成金申請支援等

○障がい児者の居場所づくり支援

【対 象】スマイルきずなサロン

【内 容】運営に関する相談・支援、サロン開催の調整

○地域の居場所づくりおよび見守り活動支援

【対 象】 竜法師区（福祉サポート、村おこしの会）、耕心区（ニコニコサロン）
おいでそまっ子(子ども食堂)、稗谷区（おたっしゃ広場）
池田団地（気まぐれ隊）

【内 容】地域福祉活動計画のプロジェクトに沿い、住民同士が交流し、お互いの顔が見える居場所づくりおよび見守り活動への継続した運営支援

○救急医療情報キット（命のバトン・マグネットホルダー）配布事業 （地域福祉基金充当）

甲南地域の住民が安心して暮らせるまちづくりの一環として、救急時に必要なかかりつけ医や薬、親族等の連絡先などを専用のケースに入れ、自宅の冷蔵庫に保管する救急医療情報キット（命のバトン）と、専用のマグネットホルダーを併せて甲南町民生委員児童委員協議会との共催により配布を実施した。

【対 象】希望する全ての世帯独居高齢者、高齢者世帯、障がい者、その他区・健康福祉会が必要と認めた世帯

【配布方法】各区の区組織、自治振興会、健康福祉会が民生委員児童委員と連絡調整の上配布

【配布数】配布数 20 セット

② 自治振興会活動支援

地域福祉の推進を目指し、自治振興会との連携を図るとともに、自治振興会役員会や部会などに参加し支援を行った。

○甲南第一自治振興会

【開催日】9月16日（金）

【場 所】甲南地域市民センター

【内 容】まちづくり部会の現状及び今後の進め方

【参 加】①自治振興会役員・民生委員児童委員・ご近所福祉推進協議会・社協等 9人

○中部自治振興会

【開催日】①6月3日（金） ②6月25日（土）

【場 所】①甲南地域市民センター ②池田区コミュニティセンター

- 【内 容】①ご近所福祉（自主防災会等）ヒアリング調査
②地域活性化セミナー
- 【参 加】①自治振興会理事 20 名 ②9 名

○宮地区自治振興会

- 【開催日】8 月 26 日（金）
- 【場 所】甲南第三地域市民センター
- 【内 容】防災研修について
- 【参 加】自治振興会役員・市民センター・社協 20 人

○小規模多機能型居宅介護 JA ゆうハート「むすん手」地域連携会議
コロナ禍のため、文書会議

○看護小規模多機能型居宅介護「そまの音」運営推進会議への参加
コロナ禍のため、文書会議

○グループホーム「そまがわ」運営推進会議への参加
コロナ禍のため、文書会議

（６）信楽地域福祉活動センター

① ご近所福祉活動推進・支援

○ふれあいいきいきサロン活動支援事業

- ・子育てサロン連絡会参加
- ・高齢者サロンの立ち上げと活動再開支援 4 か所

○救急医療情報キット（命のバトン・マグネットホルダー）配布事業（地域福祉基金充当）

信楽地域の住民が安心して暮らせるまちづくりの一環として、信楽町民生委員児童委員協議会との共催、信楽町区長会の協賛により、救急時に必要なかかりつけ医や薬、親族等の連絡先などを専用のケースに入れ、自宅の冷蔵庫に保管する救急医療情報キット（命のバトン）と、専用のマグネットホルダーの配布を実施した。

また、令和 5 年度に希望するすべての世帯に配布するよう検討準備を行った。

② ご近所福祉ネットワーク支援

○各区、健康福祉会、自治振興会等 見守り・支えあい活動支援

- 【内 容】見守り会議等

支援先	内容	支援回数
多羅尾見守り安心の輪	見守り会議等	1
勅旨区健康福祉会	全体会議、小会議	2
牧区健康福祉会	全体会議、見守り訪問会議等	3

江田区健康福祉会	見守り会議等	2
上朝宮区	見守り活動の立ち上げ支援	1
丸岡区	見守り会議等	1

③ その他支援活動など

＜オレンジカフェしがらきの開設運営＞

【趣 旨】認知症高齢者やその家族などを対象としたオレンジカフェを毎月第4水曜日午後開設し、居場所づくりとともに情報交換、啓発、交流を図るとともに、適切なサービスや支援機関への繋ぎを行う。

【開 催】コロナ禍のため8回開催

【場 所】信楽開発センター、中野区の民家他

【協 力】市長寿福祉課、民生委員児童委員、信楽地域包括支援センター、登録認知症サポーターなど

＜下坂厚氏写真展「記憶とつなぐ」開催＞

【趣 旨】地域共生社会の実現を目指し、若年性認知症当事者であり、写真家である下坂厚氏の作品を通じて、認知症啓発と多様な支援の在り方について認知症を支える支援者の研修と市民への啓発を目的に開催する。

【開 催】12月3日～12月18日

【内 容】京都府心のケアセンターより写真作品16点を借り出し、展示

【場 所】信楽図書館、甲賀市役所1F展示スペース

【共 催】信楽地域見守りネットワーク活動推進委員会

＜若年性認知症当事者による講演会＞

【趣 旨】地域共生社会の実現を目指し、若年性認知症当事者であり、写真家である下坂厚氏の作品を通じて、認知症啓発と多様な支援の在り方について認知症を支える支援者の研修と市民への啓発を目的に開催する。

【開 催】12月11日（日）

【内 容】下坂厚氏による講演（支援者と専門職3名でのトークセッション）

【場 所】陶芸の森 信楽ホール

【共 催】信楽地域見守りネットワーク活動推進委員会

（７）生活支援体制整備事業

各地域福祉活動センターに第2層生活支援コーディネーター（5人）と、地域福祉課に第1層生活支援コーディネーター（1人）を配置し、各地域に第2層協議体（5か所）を設置して、高齢者への個別相談援助を実施するとともに、住民主体のご近所福祉活動の推進支援を行うことに

より、支援を要する高齢者に対する見守り・支えあいによる暮らしの困りごとの解決支援や高齢者自身による活動の場の運営協力を行い、生きがいを進めた。

甲賀市が実施する買い物・移動が困難な高齢者への移動販売モデル事業について、市内各地の販売場所への状況確認と担当課への情報提供、事業者との打ち合わせ等、運営協力を行った。

① 生活支援・個別支援ボランティア活動への展開

○生活支援ボランティア活動支援

【グループ名】生活支援ボランティア「つなぎの輪」

【内 容】土山町内在住の高齢者等への生活支援ボランティアの相談受付、活動調整、関係機関との連携、事務的支援、初回訪問時の同行など

【グループ名】生活支援ボランティアにんにんおたすけ隊

【内 容】甲賀町内在住の高齢者等への生活支援ボランティア。相談窓口としての受付、初回訪問同行、活動調整、関係機関との連携、その他事務的支援など

【グループ名】生活支援ボランティア「すぷーん」

【内 容】甲南町内在宅高齢者等への生活支援ボランティアの相談受付、依頼者や関係機関との活動調整、事務的支援など

【グループ名】生活支援ボランティア“ほっと”

【内 容】信楽町内在住の高齢者等への生活支援ボランティアの活動調整、関係機関との連携、事務的支援など

○傾聴ボランティアグループ活動支援

【グループ名】よりそい

【内 容】甲賀市内在宅高齢者への傾聴ボランティア打ち合わせ、学習会開催、訪問調整、新規申込者対応、関係機関との連携

【グループ名】傾聴ボランティアグループ「あい・あい」

【内 容】水口町内在住高齢者等への傾聴ボランティア打ち合わせ、訪問調整
新規申込者対応

【グループ名】ほほえみ会

【内 容】土山町内在宅高齢者や障害者への傾聴ボランティア打ち合わせ、訪問調整、新規申し込み者対応

【グループ名】傾聴ボランティアつながり会ビーズ

【内 容】甲賀町内在宅高齢者への傾聴ボランティア打ち合わせ準備、訪問調整、新規申し込み者対応

（８）重層的支援体制整備事業

地域共生社会の実現に向け、複合的な課題のある要支援者や世帯に適切な相談援助を行い、関係機関と調整の上、必要な福祉サービスや地域の住民活動につなげる「多機関協働事業」「参加支援事業」「アウトリーチ等を通じた継続的支援事業」を受託実施した。また事業実施にあたっては従来から取り組んできた「地域福祉」や「ボランティア」の推進活動との連携を図った。

①多機関協働事業

複合的な生活課題により、支援において複数の福祉専門機関の連携が必要な要支援者や世帯に対し、担当の専門職が市担当課、民間の支援機関、地域の支援者等との連絡調整をとりながら、面接・相談を行い、支援会議および重層的支援会議を通じて支援内容の検討やプラン作成を行った。

【相談受付件数】 59 件

【相談元】

- ・地域包括支援センター（水口、土山、甲賀、信楽） ・甲賀市生活支援課
- ・甲賀市障がい福祉課 ・甲賀市家庭児童相談室 ・甲賀市発達支援課
- ・甲賀市教育委員会学校教育課 ・信楽保健センター ・甲賀保健所
- ・甲賀福祉作業所 ・つちやま福祉作業所 ・相談支援事業所はれるや
- ・特定相談支援事業所あゆあん ・支援センターこのゆびとまれ
- ・甲賀地域働き・暮らし応援センター ・甲賀・湖南権利擁護支援センターぱんじー
- ・甲賀市社協地域福祉活動センター（信楽、水口、土山）
- ・甲賀地域ネット相談サポートセンター ・甲賀・湖南ひきこもり支援「-奏-」
- ・ケアプランセンターぬくもり ・ケアプランセンター心地
- ・甲南高等養護学校 ・甲南高校 ・甲賀市少年センター ・地域住民（区長含む）
- ・民生委員児童委員 ・成年後見人

【支援会議・重層的支援会議実施件数】

○支援会議： 50 回（ケース数 28）

○重層的支援会議： 4 回（ケース数 1）

○会議参加機関

《庁内関係機関》 ※相談元機関を除く

- ・長寿福祉課 ・政策推進課 ・生活環境課 ・住宅建築課
- ・地域包括支援室 ・地域包括支援センター（甲南） ・医療政策室
- ・すこやか支援課 ・保健センター（水口、土山、甲南、信楽）
- ・岩上地域市民センター ・牛飼教育集会所
- ・地域共生社会推進課

《外部支援機関等》 ※相談元機関を除く

- ・滋賀県地域生活定着支援センター ・滋賀県高次脳機能障害支援センター
- ・滋賀県発達障害者支援センター
- ・支援センターしろやま ・放課後等デイサービス事業所ホッとスペースひまわり

- ・信楽くるみ作業所
- ・居宅介護支援事業所さと甲賀
- ・ヘルパーステーションつちやま
- ・せせらぎ苑
- ・信楽中学校
- ・主任児童委員
- ・甲賀市・湖南市障がい者基幹相談支援センター
- ・ケアプランセンターあい
- ・ヘルパーステーションこうか
- ・デイサービスセンターすこやか荘
- ・城山中学校
- ・滋賀県立三雲養護学校
- ・水口図書館

【研修会の開催】

- ・令和4年度 重層的支援体制整備事業にかかる研修会 ※甲賀市地域共生社会推進課と共催

【開催日】9月28日（水）

【場 所】甲賀市役所別館会議室 101

【参加者】27名

【内 容】同志社大学永田祐先生の講演と参加支援についてのグループワーク

- ・令和4年度 甲賀市内 社会福祉法人対象研修会

～重層的支援体制整備事業における社会福祉法人による「地域における公共的・公益的な取組」等の推進に向けて～ ※甲賀市地域共生社会推進課と共催

【開催日】3月13日（月）

【場 所】甲賀市まちづくり活動センターまるーむ

【参加者】28名

【内 容】龍谷大学栗田修二先生の講演と地域づくりについてのグループワーク

②参加支援事業

福祉サービスのはざまにある生活課題や福祉ニーズに対し、要支援者をインフォーマルなサービスや地域の住民活動をつなげることにより、ニーズの解決や生活の質の向上を図った。

【住民との協働会議への参画】

こうが人福祉・動物福祉協働会議、障がい児者の居場所づくり、子ども食堂ネットワークなど 計63回

【相談受付件数】

総相談件数：77件（各地域福祉活動センター等における相談件数）

【本人・家族支援／関係機関との連携】

電話：5回 面談：16回 同行：3回 関係機関との連携（協議・TELなど）：26回

【重層的支援会議・支援会議への参画】

支援会議：24回 【重層的支援会議・支援会議への参画】

【ボランティア養成講座の開催】 受講者の内22名がボランティア登録をされた。

○動物ボランティア養成講座（こうがわんにゃんボランティア養成講座）

・第1回 【開催日】1月28日（土） 【場 所】甲賀市役所別館 101 【参加者】27名

・第2回 【開催日】2月4日（土） 【場 所】甲賀市役所別館 101 【参加者】27名

※同日第1回欠席者8名に向けたダイジェスト研修会を開催した。

・第3回 【開催日】2月7日（火） 【場 所】動物保護管理センター 【参加者】18名

③アウトリーチ等を通じた継続的支援事業

要支援者に対し関係機関や各種相談窓口と連携し、積極的に対象者の居る場所に出向いて働きかけながら、必要な福祉サービスの提供につなぎ、課題解決に向けて伴走支援を行った。

【地域の会議・サロンなどへの参画（情報収集）】

生活支援ボランティア、傾聴ボランティア、介護者の会、サロン訪問など 計 167 回

【関係機関との連携】

計 87 回

【重層的支援会議・支援会議への参画】

支援会議：18 回 ・重層的支援会議：4 回

【家庭訪問および同行支援】

家庭訪問：45 回 同行支援：7 回 電話：52 回 面談：33 回

【相談受付件数】

総相談件数：372 件（各地域福祉活動センター等における相談件数）

4. 地域活動推進助成事業

（１）ご近所福祉活動助成

（共配）（社協会費）

【趣 旨】「ご近所福祉のまち甲賀」をめざし、区・自治会単位で住民が主体的に実施する見守りや支えあい活動、ふれあいいきいきサロン活動等を推進するため、自治会や地域福祉組織が行う主体的な活動について助成を行う。

【助成対象】健康福祉会、区・自治会、地域福祉推進協議会など

【助 成 額】前年度の社協会費・赤い羽根共同募金取りまとめ額に 2 割を乗じた額を限度とする。

【助成実績】117 件 2,605,000 円

ご近所福祉活動助成一覧（地域別）

地 域	令和 4 年度		令和 3 年度		令和 2 年度	
	助成件数	助成額(円)	助成件数	助成額(円)	助成件数	助成額(円)
水 口	44	988,000	43	951,000	53	1,121,000
土 山	17	146,000	18	166,000	19	200,000
甲 賀	20	490,000	19	469,000	17	416,000
甲 南	21	558,000	23	521,000	20	525,000
信 楽	15	423,000	15	408,000	17	455,000
計	117	2,605,000	118	2,515,000	126	2,717,000

※コロナ禍の関係で地域活動を中止する区・自治会がみられた。

（２）ふれあいいきいきサロン支援・助成事業

（社協会費）（共配）

○ふれあいいきいきサロン活動助成

【趣 旨】「ご近所福祉のまち甲賀」をめざし、地域住民が主体的に開催するふれあいいきいきサロン事業に対して助成を行う。

【助成対象】家で閉じこもりがちな支援を必要とする人を対象に住民同士の見守りと支えあいを目的として継続的に実施される地域の中の居場所づくり活動に対して助成

【助 成 額】年 12 回以上の開催サロンに年額 18,000 円

年 6 回以上の開催サロンに年額 9,000 円

【助成実績】146 カ所 2,412,000 円

ふれあいいきいきサロン助成内訳（地域別）

地 域	地域サロン数	助成額（円）
水 口	48	801,000
土 山	17	288,000
甲 賀	23	378,000
甲 南	39	657,000
信 楽	19	288,000
計	146	2,412,000

○広域ふれあいいきいきサロン活動助成

（共配）

助成対象団体	助成サロ ン数	総金額(円)
みんなくる会、広域サロンおいでおいで、スマイルきずな、子育て広場わのわのわ、のびのび会、ほのぼのグループ、あくていふ紫香楽、ボランティアグループささえ愛、スマイル甲賀きらきらサロン、いきいきサロン金曜会、余暇活動さんりんしゃ	11	189,000
合 計	11	189,000

5. 当事者支援

（１）高齢者支援

（共配）

① ひとり暮らし高齢者実態調査・命のバトン配付・見守り

【目 的】市内に在住の 65 歳以上のひとり暮らし高齢者世帯が安心して暮らせる健康福祉のまちづくりをめざし、安否確認、実態把握調査をするとともに救急など非常時に備えた。

【内 容】市内のひとり暮らし高齢者世帯へ、民生委員児童委員が訪問し、調査を行い、希望者に救急情報用紙の入った「命のバトン」を配付した。

【対 象】甲賀市内に住む 65 歳以上のひとり暮らし高齢者

【協 力】甲賀市民生委員児童委員協議会連合会

(2) 障がい者支援等

土山地域の障がい者グループホーム設立についての検討会等

- ①【日 時】5 月 24 日（火）
【内 容】地元の社会福祉法人に相談。
- ②【日 時】5 月 31 日（火）
【内 容】グループホーム運営事業者に相談
- ③【日 時】6 月 30 日（木）
【内 容】運営法人の再検討等について、さわらび作業所、保護者と協議
- ④【日 時】7 月 22 日（金）
【内 容】他市グループホームを見学。
- ⑤【開催日】8 月 4 日（木）
【内 容】今後についてさわらび作業所、保護者と協議
- ⑥【開催日】9 月 9 日（金）
【内 容】社協での事業展開について協議
- ⑦【日 時】10 月 12 日（水）
【内 容】基幹相談支援センターへ社協での事業展開のための相談
- ⑧【日 時】11 月 14 日（月）
【内 容】社協での事業展開について協議
- ⑨【開催日】12 月 22 日（木）
【内 容】社協での事業展開について協議
- ⑩【開催日】2 月 8 日（水）
【内 容】さわらび作業所大槻所長を講師に社協内部学習会
- ⑪【開催日】3 月 10 日（金）
【内 容】次年度以降の確認。重層的支援体制整備事業での取り組みの可否や他社協の視察など

6. 団体支援

(1) 甲賀市民生委員児童委員協議会連合会

○甲賀市民生委員児童委員協議会連合会

内 容	回数
理事会（定例）	12
総会	1
理事・専門部会長 合同会議	2
専門部会研修	6
理事研修	1

会計監査会（中間監査含む）	2
甲賀市議会 厚生文教常任委員会との意見交換会	1
交流研修会（長野県佐久市民協の視察研修の受け入れ）	1
事業計画・予算検討会議（三役会）	2
啓発事業 映画上映会	1

○各町民生委員児童委員協議会

水口	内 容	回数
総務部会		12
全員協議会		5
総務部会・専門部会合同会議		3
地区民生委員児童委員協議会（水口・岩上）		7
地区民生委員児童委員協議会（綾野）		7
地区民生委員児童委員協議会（柏木）		7
地区民生委員児童委員協議会（伴谷）		7
地区民生委員児童委員協議会（貴生川）		7
各部会別研修		3
監査会		1
四役会		1
広報紙編集発行 16,000 部		1

土山	内 容	回数
定例民生委員児童委員協議会		12
三役会		12
臨時会議		1
各種研修会		2
高齢者福祉部活動		1
障害者福祉部会 作業所支援		9
児童福祉部会活動		6
人権研修		1
県外視察研修		0
ひとり暮らし高齢者等実態調査、他		1
広報紙編集発行 2,500 部		1

甲賀	内 容	回数
定例民生委員児童委員協議会		12
三役会		12
専門部会		2
各部会（5 部会）主催研修		8
県外研修		1
広報委員会		3
広報紙編集発行 3,300 部		1
施設奉仕作業（鹿深の家 福祉梅林）		2
監査会		1
救急医療情報キット（命のバトン）配布事業		通年

甲南	内 容	回数
定例民生委員児童委員協議会 会議		12
役員会		3
全体研修研修「個別避難計画、子ども若者ケアラー、制度等」		5
高齢者福祉部会「成年後見制度について」		1
障がい者福祉部会研修「働き教育センター甲賀」		2
生活福祉部会研修「見守り活動、フードバンク事業について」		2
人権福祉部会「やまなみ工房」		1
広報委員会		5
広報紙編集発行 7,000 部		1
地域見守りマップ作成支援		通年
三役会		12
監査会および決算会計事務処理支援		3

信楽	内 容	回数
全員協議会（各部会研修会）		5
役員会（三役会・役員会）		12
正部会長会		2
会計監査		1
地区民児協（4 地区民児協）		12
部会（人権福祉部会）		1
救急医療情報キット「命のバトン」配布事業		通年
広報紙編集発行 3,900 部とスマホ研修		1

（２）甲賀市介護者の会

○介護者の会（当事者団体）支援 （全体）

【内 容】総会、役員会、研修会の開催、合同サロン

【開 催】12 回

【参 加】延べ 60 人

【広報発行】年 1 回（3 月 VOL. 17 発行 編集・配布支援 枚数 2,000 部）

○介護者サロン開催支援

	開催日 13:30～15:30	内 容	場 所	回数	参加人数
水口	毎月第 3 水曜日	相談、情報交換、茶話会、交流会	まる一む	11	59
土山	毎月第 3 金曜日	懇談・相談・リフレッシュ・交流会・施設見学等	フィランソ土山など	10	128
甲賀	毎月第 4 水曜日	懇談・相談・体操・リフレッシュ・茶話会・絵手紙	かふか生涯学習館など	10	128
甲南	毎月第 2 木曜日	懇談・相談・リフレッシュ・茶話会・料理教室	甲南地域市民センター3 階など	11	67
信楽	毎月第 3 水曜日	情報交換、意見交換、研修会、交流会等	信楽開発センターなど	10	70

(3) その他団体支援

○赤十字奉仕団 ○遺族会 ○身体障害者更生会 ○手をつなぐ育成会
○ゆうゆう甲賀クラブ ○更生保護女性会

7. 老人福祉センターなどの指定管理事業

(1) 老人福祉センター碧水荘（水口）

〈利用者状況〉

【開館日数】 年間 348 日

【延べ利用者数】 年間 2,718 人 （一般来館者含む）

〈自主サークル〉 17 サークル 開催回数 335 回 延べ参加人数 2,523 人

	教室名	開催日	内容	開催回数	延べ参加人数
1	水口陶芸	第2・4 木曜日	各種陶芸の講義と実習	23	215
2	陶芸 A	第4 水曜日	高度の陶芸実習	12	83
3	陶芸 B	第3 水・木曜日	高度の陶芸実習	24	162
4	書道	第1 金曜日	楷書・行書の練習	12	107
5	茶道	第2・4 火曜日	ふくささばきとお盆点前	23	179
6	表装	第2・4 金曜日	各種表装の実習	21	119
7	将棋	第2・3・4 火曜日	将棋の実践と戦い方	36	225
8	デジカメ	第1・3 木曜日	デジカメ写真撮影基本	23	284
9	絵手紙	第2・4 金曜日	絵手紙の描き方	20	164
10	絵画 A	第2・4 水曜日	絵画のデッサン	24	180
11	絵画 B	第1・3 水曜日	絵画のデッサン	24	148
12	いけばな	第1 木曜日	生け花の活け方	11	103
13	ハワイアンダンス	第1・3 月曜日	ハワイアンダンス	23	155
14	パッチワーク	第1 金曜日	パッチワーク	12	81
15	デコパージュ	第3 水曜日	デコパージュ	12	75
16	エアロビ	第2・3・4 木曜日	エアロビ	25	188
17	ちぎり絵	第2 水曜日	ちぎり絵	10	55
計				335	2,523

〈その他事業〉 開催回数 13 回 延べ参加人数 195 人

	開催日	内容	開催回数	延べ参加人数
体験教室	11 月～12 月 ※開催日各サークルで決定	書道、茶道、水口陶芸、 絵手紙、絵画 A、絵画 B、 デコパージュ	※(17) 自主サークル に含む	※(22) 自主サークル に含む
文化祭	11/12(土) 11/13(日)	展示・体験・バザー (碧水ホール)	※(2)	※(290)
代表者会議	4/11(月) 6/13(月)	活動内容の検討等	3	54

	1/23(月)			
文化祭 実行委員 会	8/2(火) 10/4(火)	文化祭実施の検討等	2	30
消防訓練	9/27(火) 3/10(金)	避難、通報、消火訓練 防災教育	2	32
奉仕作業	6/17(金) 9/27(火)	日赤奉仕団	2	47
奉仕作業	12/22(木)	陶芸友の会	1	12
打 合 せ 他	5/30(月)、他	陶芸友の会 他	3	20
計			13	195

※体験教室：自主サークルに含む (開催回数) (延べ参加人数) から省く

※文 化 祭：碧水ホールにて実施 (開催回数) (延べ参加人数) から省く

(2) 老人福祉センターフィランソ土山

＜利用者状況＞

【開館日数】年間 244 日 【延べ利用者数】年間 866 人

＜利用状況＞

○地域の活動の拠点

土山町民生委員児童委員協議会の定例会、研修会、ご近所福祉推進協議会定例会、研修会、ゆうゆうクラブ土山支部、ボランティアグループの活動拠点として利活用された。

8. 甲賀市社協ボランティアセンター事業

(共同募金、社協会費)

(1) 福祉ボランティア活動の活性化

① ボランティア養成講座「ボランティアの学校」開催

・甲賀市内のボランティア活動の活性化、ボランティア人口の増加を目的に、甲賀市ボランティア活動連絡協議会との共催にて連続講座を開催。参加者延べ 84 人

第 1 回 公開講座「今求められるボランティアとは？」

(講師：まちづくりスポット大津白井恭子氏)

第 2 回 甲賀市で活躍するボランティアグループの活動内容発表・体験

第 3 回 実習「ボランティアグループの活動に参加してみよう」

第 4 回 演習「実際の活動に参加した感想を伝え合おう」

講義「ボランティア活動において大切なことを話し合おう」

後援：甲賀市（甲賀市まちづくり活動センターまるーむ）

② 甲賀市社協ボランティアセンター登録者・グループ数

登録者一覧表(令和4年4月1日現在)					
地域	グループ		個人登録人数	個人・G 総数	登録人数 合計
	G数	人数			
水口	41	940	56	97	996
土山	30	410	20	50	430
甲賀	38	1,583	10	48	1,593
甲南	27	1,053	48	75	1,128
信楽	34	513	17	51	564
市VC	40	1,378	3	43	1,381
(内) 災害V	—	—	102	—	101
合計	210	5,877	256	364	6,193

③ ボランティアコーディネート

《主なコーディネート内容》

福祉ボランティアコーディネート、ボランティア活動（志望）者相談、福祉施設ボランティア、福祉学習コーディネートなど。

（※実績数は、総合相談事業「福祉なんでも相談」に集計）

○水口地域

生活支援ボランティアちょこっとお助け隊活動支援、うさぎのミミ活動支援、みんなくる会活動支援、サロンまなび活動支援、傾聴ボランティアグループ「あい・あい」活動支援、子どもの居場所「ばあちゃんち」活動支援、地域行事、福祉施設へのボランティアコーディネート

○土山地域

サロン・地域行事等へのボランティアコーディネート、ふみグループ活動支援、ほほえみ会活動支援、生活支援ボランティアつなぎの輪事務的支援、ルージュ（作業所給食ボランティア）コーディネート、個人ボランティアコーディネート

○甲賀地域

地域行事、福祉施設、サロン等へのボランティアコーディネート、喫茶お和しすボランティア活動支援、傾聴ボランティア活動支援、生活支援ボランティア活動支援

○甲南地域

ボランティアグループ活動支援（もんじゃの会、手づくりおもちゃポッポちゃん、音訳グループみみずく、音訳グループひだまり）、地域行事・団体・自主活動・おたっしや広場等の

ボランティアコーディネート

生活支援ボランティアグループ「すぽーん」の活動支援とコーディネート

○信楽地域

生活支援ボランティアグループほっと、障がい児・者活動支援、子育てサロン支援、あくていふ紫香楽活動支援、金曜会活動支援、地域サロン・行事へのボランティアコーディネート

④ 甲賀市介護予防ボランティアポイント業務

○活動者登録業務

○受入施設との連絡調整（状況確認及び活動内容の確認、新規受け入れ施設の開拓及び制度説明、相談対応など）

○活動継続者研修会

【開催】11月29日（火）

【内容】介護予防ボランティアポイント活動対象研修「フレイル予防について」
グループワーク「ボランティア活動を振り返ろう」

【参加】7人

○ボランティアポイント交換業務（ポイント引き換え施設との調整、活動者へのポイント付与、ポイント管理、台帳整備等）

○広報・啓発 社協ホームページ、ボランティア養成講座等での周知・啓発

⑤ ボランティア保険加入事務

	ボランティア 活動保険（人）	行事保険（件）	福祉サービス補 償（件）	送迎補償 （件）
水口	1,383	124	5	1
土山	41	15	0	0
甲賀	404	28	1	9
甲南	230	39	0	3
信楽	336	57	2	2
合計	2,394	263	8	15

（２）甲賀市ボランティア連絡協議会支援

支部名	支援内容	回数	参加延人数
市ボランティア 連絡協議会	理事会、支部長会、四役会、総会、研修 会など	13	317
水口支部	代表者会、役員会、交流会、研修会	13	142
土山支部	代表者会、交流会、広報紙発行支援	7	41

甲賀支部	役員会、代表社会、研修会など	15	119
甲南支部	三役会、定例会、研修会など	13	122
信楽支部	三役会、定例会、研修会、交流会 しがらきボランティアまつり開催、 広報紙発行支援など	9	90
合 計		70	831

(3) 福祉学習等開催支援

(学校が実施する福祉学習への協力・支援)

(共配)

出前講座の実施（車いす体験、アイマスク体験、点字体験、インスタントシニア体験等）

《開催状況一覧》

	小学校		中学校		計	
	箇所	回	箇所	回	箇所	回
水口	3	5	0	0	3	5
土山	2	2	0	0	2	2
甲賀	3	4	1	1	4	5
甲南	2	3	0	0	2	3
信楽	4	4	1	1	5	5
計	14	18	2	2	16	20

(4) ボランティア助成事業

(共配)

事業名	助成対象団体	件数	金額（円）	事業内容
甲賀市ボランティア連絡協議会活動助成金	ボランティア連絡協議会活動助成金	6	120,000	ボランティア連絡協議会活動

9. 広報、社協表彰状贈呈式、人材育成

(1) 広報紙の発行

(共配)

広報紙は、冊子版「社協こうか」の発行と老人福祉センター碧水荘だより・甲賀福祉作業所通信・つちやま福祉作業所通信を発行した。冊子版では、ウイルス感染対策をしながら活動されている地域やフードバンク事業等の紹介を通じて、コロナ禍における社協全体としての動きや啓発を行い広く周知した。冊子版の発行は年4回とし、その内3回（4月と10月と1月）を

新聞折込、1回（7月）を各地区区長の協力により町内や組を通じて配布していただいた。

① 甲賀市全体版発行 冊子版 4回（区長配布7月）（新聞折込4月・1月・10月）

	発行日	広報紙人	記事
1	4/15(金)	社協こうか 第99号	・気まぐれ隊の紹介 ・事務所移転のお知らせ ・赤い羽根共同募金協力のお礼 他
2	7/15(金)	社協こうか 第100号	・ボランティア養成講座開催の紹介 ・社協こうか新デザイン決定 ・令和3年度事業報告・決算報告 他
3	10/1(土)	社協こうか 第101号	・サマースクール夏の思い出 ・新キャラバンメイト誕生のお知らせ ・令和4年度甲賀流赤い羽根バッジデザインの紹介 他
4	1/1(日)	社協こうか 第102号	・今年の抱負 ・社協会費のお礼 ・赤い羽根共同募金寄附つき自動販売機設置 他

② 老人福祉センター碧水荘だより発行 1回

③ 甲賀福祉作業所通信発行 12回

④ 社協内広報の発行（法人内部職員向け） 4回

⑤ 視覚障がい者への音訳CDの作成

○甲賀市社協 4回 甲賀市 12回 議会だより 4回

○発送登録者 17人

○毎回の発送枚数 利用者17枚・図書館用5枚

（２）あいコムこうか共同制作「こうふくコロンプス」

株式会社あいコムこうかとの協働により地域福祉の専門番組を制作し、市内における住民による地域福祉活動の紹介や社協活動の紹介など広報啓発活動を行った。

① こうふくコロンプス放映 12回

【放映日】第2月曜日から日曜日までの1週間

【放映時間】月曜日～土曜日／9:30～・12:30～・16:30～・20:30～・23:00～

日曜日／8:00～・12:30～・16:30～・20:30～（15分番組）

【主な内容】サロン活動紹介・インタビュー・ボランティア活動紹介・地域の福祉活動紹介
社協の事業紹介・お知らせ（講座の開催案内等）

	放送月	内容
1	4月	・古城が丘区いきいきサロン（水口地域） ・生活支援ボランティアほっと（信楽地域）
2	5月	・社協事業紹介「社協ってどんなところ？」 ・地域福祉活動センター紹介（土山）

3	6 月	・ 社協事業紹介「ご近所福祉とは？（助成金）」 ・ 地域福祉活動センター紹介（甲賀・甲南）
4	7 月	・ 社協事業紹介「ボランティア養成講座」 ・ 地域福祉活動センター紹介（水口・信楽）
5	8 月	・ オカリナたまごくらぶ（水口地域） ・ 共同募金バッチデザイン応募作品紹介
6	9 月	・ 認知症キャラバン
7	10 月	・ 赤い羽根共同募金
8	11 月	・ 社協事業紹介「生活福祉課」 ・ e ころろステーション（水口・甲賀・信楽）
9	12 月	・ 社協事業紹介「在宅生活支援部」 （抱え上げない介護／すこやか荘体操指導）
10	1 月	・ 社協事業紹介「ご近所福祉推進協議会」 （信楽オレンジカフェ／土山地域づくりフォーラム）
11	2 月	・ 社協事業紹介「福祉作業所」（つちやま／甲賀）
12	3 月	・ 大原上田区移動支援の取り組み（甲賀地域） ・ 村おこしの会（甲南地域）

（３）社協表彰状贈呈式

○令和４年度甲賀市社会福祉協議会会長表彰状の贈呈式

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため地域福祉大会が中止となったため、今年度も甲賀市社会福祉協議会単独で表彰式を行う事となった。

【開催日】 ２月 21 日（火）

【場 所】 甲賀市まちづくり活動センター まる一む

《表彰贈呈者》

- ① オカリナ たまごクラブ
- ② 生活支援ボランティア「つなぎの輪」
- ③ かふかの風
- ④ 中島仁史氏
- ⑤ 田畑恵美子氏
- ⑥ 馬越秀彦氏

（４）実習生の受入れ

○社会福祉士養成 社会福祉援助技術現場実習受け入れ

【実習生（期間）】

大谷大学 社会学部 １人（29 日間 181 時間）

【内 容】社協が実施する各種地域福祉事業・活動への参加を受け入れ、援助技術を中心に

指導・助言・評価を行なった。

(5) 広報プロジェクト会議

○会議等

	開催日	内容
1	5 /31(日)	会議の持ち方などの協議
2	6 / 9(木)	職員アンケートの検討
3	7 /26(火)	職場アンケートのまとめ
4	8 /9(火)	次年度の計画・予算の協議
5	9 /27(火)	次年度以降の広報会議のあり方についての協議
6	10/24(月)	市広報担当者との学習会の検討、住民向けアンケートの検討
7	11/29(火)	市広報担当者との学習会
8	1 /17(火)	住民向けアンケートの検討、次年度以降の会議のあり方検討
9	2 /28(火)	住民向けアンケートの検討、次年度以降の会議のあり方検討

○職員アンケート

【実施期間】6月17日から6月30日

【方 法】Google フォームおよび紙によるアンケート

【調査数】214名

【回収】150名(70%)

10. その他受託事業等

(1) ファミリーサポートセンター事業

(市受託)

【趣 旨】住民が仕事と育児を両立し、安心して働くことができる環境を整備するとともに、地域における子育て支援を行い、労働者の福祉の増進および児童の福祉の向上を図る。

【マッチング回数】365件

【活動別実績】(回)

活動内容	令和4年度	令和3年度
保育所・幼稚園の帰宅後の預かり	110	23
保育所・幼稚園の送り	127	151
保育所・幼稚園の迎え	29	0

学童保育の終了後の預かり	41	31
保護者の外出の場合の預かり	3	7
学童保育の迎え	51	69
子供の習い事の場合の援助	172	51
保育所・学校等休み時の援助	0	1
保護者等の短時間労働の場合の援助	0	3
保護者の病気、その他急用時の預かり	6	29
学習支援事業の送迎	0	0
その他	36	0
合計	575	365

【登録会員数】

(人)

	令和4年度	令和3年度	令和2年度
おねがい会員	204	196	220
まかせて会員	83	81	81
どっちも会員	26	25	25
合計	313	302	326

【事業内容】

業務名称		開催時期	場所	人数	内容
講座・交流会	子育てサポーター応援講座（基礎編）交流会	10月12日 10月19日 12月19日	まる一む	20	地域の子育てを応援する人材を育成することを目的に開催
広報関係	社協こうか	10月	甲賀市内一円	1	社協こうか第97号に紹介記事を掲載
	ファミサポ通信発行	3月			全会員へ郵送、市内小学校・関係機関への配布と郵送
登録業務（出張）		随時	社協各地域福祉活動センター又は会員の自宅	11	センターまで来所困難なお願い会員への対応
相談業務		随時		165	利用の問合せ等

（２）こんにちは赤ちゃん事業

(市受託)

【内 容】市から委託を受け、生後3か月の赤ちゃんのおられる家庭を民生委員児童委員が訪問される際にお渡しする粗品及び子育ての情報紙の準備等を通じ、子育てで悩みを抱えるケースも多く、早期発見早期対応を目指して担当機関へつないだ。本年度はコロナ禍により子育て情報誌等を送付し、民生委員児童委員が電話による声かけなどを行い、10月から訪問を再開した。

【訪問件数】 民生委員児童委員による見守り・声かけ件数

(件)

地域	令和４年度	令和３年度	令和２年度
水 口	128	165	245
土 山	14	19	19
甲 賀	20	37	46
甲 南	43	107	99
信 楽	20	17	28
合 計	225	345	437

１１．機器貸出事業

貸出状況

(件)

物品	水口	土山	甲賀	甲南	信楽
わたがし機	3	2	0	4	0
ポップコーン機	3	0	0	3	0
かき氷	1	2	2	4	1
たこ焼き機	0	0	0	0	0
餅つき 臼と杵	0	0	0	0	0
レクリエーション	31	44	152	33	0
ニュースポーツ	0	0	0	19	0
おもちゃ	21	0	0	5	0
ビンゴ道具	5	3	3	0	0
カラオケ・楽器	5	0	4	2	3
テント	0	1	0	0	0
車いす	162	48	59	6	51
スロープ	0	0	0	0	0
歩行器	1	0	0	0	31
アイマスク	150	2	41	0	0
点字機器	23	0	0	0	0
プロジェクター	0	1	41	5	2
CD・DVD	0	3	0	0	0

Ⅲ.「相談・支援」の取り組み

1.生活困窮者自立支援の取り組み

生活困窮者自立支援法に基づき、社会的孤立にある人・経済的困窮にある人、制度のはざまにある人などに対して、家計の管理ができるようになり、生活のリズムを取り戻し、社会ともつながることができるよう自立を支援する自立相談支援事業・家計相談支援事業を市から受託し実施した。

(1) 自立相談支援事業・家計改善支援事業の推進

(市受託事業)

① 生活相談・困窮相談への対応

【相談者数】166人(内訳 新規相談110人)

【延べ件数】586件

(件)

相談(延べ件数)の内訳			
病気・障がいについて	22	地域との関係について	4
住まいについて	9	家族との関係について	5
収入・生活費について	132	子育てについて	12
家賃・ローンの支払について	95	介護について	1
税金・公共料金の支払について	86	ひきこもり・不登校について	1
債務・借金について	120	DV・虐待について	1
仕事・就職について	35	食べる物がない	35
仕事のトラブルについて	0	その他	28

② 家計相談支援の状況

【支援件数】7件(内訳 新規5・継続2件)

【支援内容】家計収支のバランスが取れていないなど、家計に問題を抱え、現に経済的に困窮している世帯について、市生活支援課と連携し自立促進を目標に、相談支援を実施する。

(債務整理手続き、滞納税等の分納手続き、給付金等受給手続き、公共料金の支払手続き、法的相談、年金申請などの同行支援等を含む。)

③ ひきこもり支援事業(サロンぽるた同行支援等)

生活困窮世帯でかつ閉じこもりがちな方に対して、居場所づくりや社会参加の促進を目的にサロンを実施した。(サロン45回開催)

○支援内容 個別面談(傾聴支援)、就労支援(ハローワーク・生活支援課同席傾聴支援)、自宅訪問、就労先同行支援等

《研修、会議等への参加》

○資金貸付担当研修会

【開催回数】1回

【場 所】県立長寿社会福祉センター

【参加者】相談員1人

○甲賀市役所生活支援課との定例連絡会の実施

【回 数】46 回（毎週水曜日の実施）

【内 容】市・社協で受けた全困窮相談の情報共有・支援の方向性確認等を実施

【場 所】甲賀市役所

【参加者】市生活支援課、就労準備支援機関、社協

○青少年自立支援ホーム 一歩 運営委員会

【回 数】3 回

【場 所】青少年自立支援ホーム 一歩

【参加者】一歩運営委員会委員、社協

（２）甲賀市学習支援事業「学んでいコウカ」の実施

（市受託事業）

生活困窮者自立支援法に基づき、生活困窮世帯の子どもたちに対し、貧困が世代をこえて連鎖することがないように、学習・食事・生活習慣の確立などを支援し、子どもたちが自らの能力を伸ばし、社会で自立して生きていく力を身につけることができることを目的に実施される甲賀市学習支援事業「学んでいコウカ」水口・月曜・火曜教室を受託し事業実施した。

○甲賀市学習支援事業 「学んでいコウカ」水口・月曜・火曜教室の目標

- ・心いやされる居場所づくりとしての取り組み
- ・生活習慣の確立と食の確保の取り組み
- ・将来の夢や職業観を持てる取り組み
- ・基礎的な学力定着と学力の向上のための取り組み

○水口・月曜教室の概要、実績

- ・開設日時 毎週月曜日（祝祭日は除く） 18:00～20:00
- ・開設場所 水口保健センター
- ・登録児童 小学生 5 人、中学生 3 人、高校生 1 人
- ・スタッフ 学習指導員 2 人、運営サポーター 7 人
- ・年間実績
 - ・年間開設日数 40 日
 - ・年間利用児童数 延べ 242 人
 - ・特別企画内容 お楽しみ会、ゲストスピーカー（外国の暮らし/進路や仕事について） など

○水口・火曜教室の概要、実績

- ・開設日時 毎週火曜日（祝祭日は除く） 18:00～20:00
- ・開設場所 水口保健センター
- ・登録児童 小学生 4 人、中学生 6 人、高校生 2 人

- ・スタッフ 学習指導員 1 人、運営サポーター 5 人
- ・年間実績
 - ・年間開設日数 40 日
 - ・年間利用児童数 延べ 236 人
 - ・特別企画内容 お楽しみ会、食事の寄附、ゲストスピーカー（進路や仕事について）など

○学習支援事業「学んでいコウカ」に関する会議・研修会等

- ・学習支援事業 代表者会議

【回 数】1 回/月

【内 容】各教室の状況等情報交換、指導員研修等

【場 所】甲賀市役所

【参加者】市生活支援課、各教室代表者、市家庭児童相談室、市学校教育課

（３）フードバンク事業 e ころプラン

生活困窮者支援や地域の居場所作り、子ども食堂の活動を支援する拠点として甲賀市版フードバンク事業を実施。e ころステーション開設にあたり運営ボランティアを募り活動拠点を整備し、食品・物品の寄附や提供の流れを作ること、地域に必要とされる支えあいの仕組みが地域に広がることを目的に取り組む。令和 2 年度内に水口地域、甲賀地域、信楽地域の 3 か所の活動拠点を設け、令和 4 年度は甲賀市とともに食品ロス問題に取り組み、企業啓発活動に取り組んだ。

寄附・提供数一覧 3 拠点の合計数									
	食品（品数）			米（重量 Kg）			物品（品数）		
	寄附 受入	提供 （個人）	提供 （団体）	寄附 受入	提供 （個人）	提供 （団体）	寄附 受入	提供 （個人）	提供 （団体）
4 月	525	935	306	64.2	187.5	0	23	38	2
5 月	692	1,049	103	83.0	161.0	0	97	39	97
6 月	475	855	40	30.0	124.0	3.0	258	10	0
7 月	679	896	341	50.0	118.5	0	23	28	0
8 月	729	786	460	541.0	180.9	6.0	185	199	0
9 月	887	941	100	1041.2	172.0	0	69	13	30
10 月	1,469	1,206	127	238.5	182.0	3.0	133	36	0
11 月	480	1,188	64	461.9	237.7	7.5	226	108	8
12 月	1,442	1,081	418	515.1	235.5	0	694	75	0
1 月	5,918	1,332	196	190.0	223.0	154.5	101	75	1
2 月	4,943	1,177	318	70.0	215.0	9.0	53	27	20
3 月	1,735	1,571	357	172.0	234.5	0	181	70	7
計	19,974	13,017	2,830	3,456.9	2,271.6	183	2,043	718	165

【フードバンク活動拠点の状況】

① eこころステーションみなくち

【場 所】 水口町八坂 7-2

【開設日】 令和 2 年 6 月 1 日

【運 営】 eこころステーション運営ボランティアグループ

② eこころステーションこうか

【場 所】 甲賀町大原中 1065

【開設日】 令和 2 年 12 月 1 日

【運 営】 eこころステーション甲賀ボランティアグループ

③ eこころステーション信楽みつけようパントリー

【場 所】 信楽町長野 1284-1

【開設日】 令和 3 年 3 月 15 日

【運 営】 ボランティアグループ大丈夫をみつけよう

各活動拠点において、運営ボランティアグループの活動支援や地元企業への寄附の呼びかけ、コーディネートや関係機関との調整、賃貸契約等必要な事務手続きなどを行った。

（運営ボランティアグループへの活動助成事業の創設）

eこころステーションで活動するボランティアグループの活動が継続・発展することを目的に、eこころステーションボランティアグループ活動助成金を創設し運営ボランティアグループへ交付した。

交付実績

・ eこころステーション運営ボランティアグループ（水口）	60,000 円
・ eこころステーション甲賀ボランティアグループ	30,000 円
・ eこころステーション信楽みつけようパントリー 運営ボランティアグループ大丈夫をみつけよう	30,000 円

○滋賀県社会福祉協議会との連携

関係会議への参加と企業等からの寄付申し出の受入調整

（４）住民同士による外出支援活動の推進

○外出支援活動用貸し出し車両貸渡事業の実施

住民有志による外出支援活動を行う区・自治会、団体に対し、送迎用車両を貸出し、活動を支援する。

・貸出登録先となった地域、団体

拝坂区、大原上田区、伴谷自治振興会、山内自治振興会、いきいきサロンコスモス会、貴生川地域自治振興会、甲賀市介護者の会、雲井自治振興会

2. 生活支援活動

(1) 資金貸付事業

① 小口資金の貸付

小口資金の貸付状況							
地域	新規貸付		年度中 償還額(円)	貸付金残額(3月31日現在)			
	件数	金額(円)		件数	金額(円)	内滞納 件数	内滞納額(円)
水口	4	70,000	136,000	87	2,452,000	87	2,440,000
土山	2	40,000	0	11	312,000	9	272,000
甲賀	2	40,000	48,000	9	206,000	6	98,000
甲南	2	30,000	10,000	10	216,000	10	216,000
信楽	1	20,000	10,000	7	252,000	6	242,000
合計	11	200,000	204,000	124	3,488,000	118	3,268,000

② 生活福祉資金の貸付

○新規貸付の決定状況（資金種別ごと）

地域	総合支援資金		緊急小口資金		福祉資金		教育支援資金	
	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)
水口	0	0	0	0	0	0	3	2,905,500
土山	0	0	0	0	0	0	1	360,758
甲賀	0	0	0	0	0	0	2	3,160,000
甲南	0	0	0	0	0	0	3	881,200
信楽	0	0	0	0	1	145,000	1	3,620,000
市計	0	0	0	0	1	145,000	10	10,927,458
地域	生活復興支援資金		臨時特例 つなぎ資金		合 計		前年度	
	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)
水口	0	0	0	0	3	2,905,500	4	4,397,414
土山	0	0	0	0	1	360,758	0	0
甲賀	0	0	0	0	2	3,160,000	0	0
甲南	0	0	0	0	3	881,200	0	0
信楽	0	0	0	0	2	3,765,000	2	1,831,530
市計	0	0	0	0	11	11,072,458	6	6,228,944

○新型コロナウイルス感染症の影響による特例緊急小口資金貸付、総合支援資金の状況

コロナ禍の影響による休業や失業等により生活に必要な資金が不足した世帯に対する緊急小口資金と、失業等により生活困窮の状態が継続している世帯に対する総合支援資金の貸し付けにおいて、申請窓口を市役所別館に設置し、相談援助と共に令和2年3月～令和4年9月まで申請受付を行った。(令和4年度)

	貸付決定 件数 (件)	貸付決定 金額 (円)	貸付決定 件数総数 (件)	貸付決定 金額総額 (円)
緊急小口資金	48	9,290,000	1,489	289,420,000
総合支援資金	23	10,260,000	1,085	538,670,000
延長資金	0	0	364	159,580,000
再貸付資金	0	0	532	231,120,000
合 計	71	19,550,000	3,470	1,218,790,000

(2) 地域福祉権利擁護事業 (こうかあんしんネットセンター)

認知症・知的・精神に障がいがあり、判断能力が十分でない人を対象に、その人の自立・自己選択・意思決定を支えるため、福祉サービスの利用援助・日常的金銭管理・書類等の預かり支援を実施した。

① 支援実績

- ・ 事業利用契約者年度末数 110 件 (内生活保護件数 19 件)
- ・ 問い合わせ件数 12 件
- ・ 要調査相談件数 19 件 41 回
- ・ 生活支援員による支援件数 8,403 件 (内生活保護件数 2,100 件)

② 令和5年3月31日現在契約者数

契約者数	認知高齢者等	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計
R3 年度末	12	71	25	5	113
R4 年度新規	1	1	2	0	4
R4 年度終了	4	1	2	0	7
R4 年度末	9	71	25	5	110

③ 専門員、生活支援員の活動状況

- ・ 利用者ケース会議等への出席
- ・ 圏域の自立支援協議会への参画
- ・ 預かり物の点検、支援計画見直し
- ・ 訪問支援活動
- ・ 利用者が死亡された場合の対応等、必要な支援内容の検討

④ 内部会議・ケース検討会等

○権利擁護事業利用者ケース検討（弁護士による助言・アドバイス）

【回 数】12回

【会 場】水口社会福祉センター

【参 加】弁護士、支援専門員

○その他

ケースの共有および、支援の目線合わせや課題解決を目的に、ケース検討会を計13回行った。

⑤ 運営適正化委員会による運営監視

【日 時】7月7日（木）13：00～16：30

⑥ 地域福祉権利擁護事業利用者生活状況等調査

【調査期間】7月～9月

【調査対象】7月1日現在地域福祉権利擁護事業利用者

【調 査 数】87名

【実施主体】滋賀県社会福祉協議会

⑦ 行政会議・ネットワーク会議・研修会・権利擁護支援センターばんじー等

○甲賀地域 障害児・者サービス調整会議（甲賀地域自立支援協議会）

【開 催】4回（定例会議・全体会議、推進会議に参加）

【場 所】甲賀県事務所

【参 加】甲賀圏域の関係機関、関係支援ワーカー、担当者等

○甲賀市障害者虐待防止ネットワーク協議会

参加回数：年間2回

○甲賀市障害者差別解消地域支援協議会

参加回数：年間2回

○甲賀圏域権利擁護支援推進協議会（担い手づくり部会）

参加回数：年間2回

○令和4年度地域福祉権利擁護事業 生活支援員新任職員研修会

【開設日】①5月27日（金）

②6月9日（木）

③6月14日（火）

【場 所】滋賀県立長寿社会福祉センター

【参 加 者】自立支援専門員2名、生活支援員2名

○令和４年度地域福祉権利擁護事業 専門員会議

【日 時】８月１７日（水）

【場 所】滋賀県立長寿社会福祉センター

【参 加 者】１名

○令和４年度地域福祉権利擁護事業 課長・専門員連絡会

【日 時】①１０月２６日（水）

②１２月１４日（水）

【場 所】遠隔会議

【参 加 者】１名

○令和４年度滋賀県障害者虐待防止・権利擁護研修会

【日 時】１１月２９日（火）

【場 所】滋賀県立長寿社会福祉センター

【参 加 者】１名

○令和４年度保健・福祉専門職を対象とする防災力向上研修会

【日 時】１２月１３日（火）

【場 所】遠隔会議

【参 加 者】１名

○令和４年度知的障害者等支援にかかる研修会

【日 時】１月１１日（水）

【場 所】遠隔会議

【参 加 者】１名

○令和４年度日常生活自立支援事業「専門員実践力強化研修会Ⅱ」

【日 時】２月９日（木）、２月１０日（金）

【場 所】遠隔会議

【参 加 者】１名

○令和４年度第２回講座「相談対応が限界を迎えるとき」

【日 時】２月１３日（月）

【場 所】遠隔会議

【参 加 者】１名

３．障がい者への相談支援・計画相談支援の実施

相談支援専門員（兼務）を２人配置し、計画相談支援（サービス等利用計画の作成）・基本

相談支援の事業を展開し、障がい福祉サービス等の利用を希望する障がい者の総合的な援助方針や解決すべき課題を踏まえ、もっとも適切なサービスの組み合わせについて検討し計画を作成支援した。

【相談件数】1件

【契約者数】31人（水口8、土山7、甲賀8、甲南3、信楽5）

【計画作成件数】27件

【モニタリング件数】94件

（会議・研修会等）

○甲賀地域障害児・者サービス調整会議 相談支援事業ネットワーク部会への参画

地域内の相談機関による活動の情報交換・共有を行い、相談支援事業の課題に向けた取り組みを検討・実施する目的で開催された会議

【開催】12回（毎月第1火曜日）

【場所】甲賀合同庁舎

○甲賀市・湖南市障がい者基幹相談支援センター主催研修への参画

甲賀圏域の相談員のスキルアップや、円滑な事業実施ができるように開催され参加

【開催】1回

【場所】障がい者基幹相談支援センター

○滋賀県相談支援従事者初任者研修の新規修了者 1名

4. ひきこもり支援活動

（1）「甲賀湖南ひきこもり支援 ～奏 かなで～」への参画・活動支援

【会議等】運営会議への参加 3回

【場所】甲賀健康福祉事務所

（2）一斉電話相談窓口の開設と相談の実施

【日時】9月15日（木）、2月9日（木）

【相談員】ソーシャルワーカー3人（社会福祉士）

【件数】0件

（3）居場所づくり

eこころステーションに、運営ボランティアの協力のもと、ひきこもりの方が通えるサロンを開設し利用いただいた。

（4）働く体験

ひきこもり状態にある人の社会参加を目的に、軽作業をしながら人との交流の機会を作る甲賀市働く体験を、組織を横断したプロジェクト形式で企画、検討し、実施した。

【プロジェクト検討メンバー】

社会福祉法人さわらび福祉会（甲賀・湖南ひきこもり支援 奏 かなで）・甲賀市（生活支援課、地域共生社会推進課）・甲賀地域障がい者雇用生活支援センター、甲賀保健所、滋賀県社会福祉協議会、甲賀市社会福祉協議会

【事務局（実働）メンバー】

社会福祉法人さわらび福祉会（甲賀・湖南ひきこもり支援 奏 かなで）・甲賀地域障がい者雇用生活支援センター、滋賀県社会福祉協議会、甲賀市社会福祉協議会

【実施日・場所・内容・参加者】

- | | | | | |
|---|-----------|------------|-----------|-------|
| ① | 4月15日（金） | 水口社会福祉センター | そばの実の選別作業 | 参加者3名 |
| ② | 5月20日（金） | まる一む | そばの実選別 | 参加者4人 |
| ③ | 6月16日（木） | まる一む | そばの実選別 | 参加者3人 |
| ④ | 7月15日（金） | まる一む | そばの実選別 | 参加者2人 |
| ⑤ | 8月19日（金） | まる一む | そばの実選別 | 参加者2人 |
| ⑥ | 9月16日（金） | まる一む | 公用車の清掃 | 参加者2人 |
| ⑦ | 10月21日（金） | まる一む | そばの実選別 | 参加者3人 |
| ⑧ | 11月18日（金） | ふれ愛パーク | 見学 | 参加者2人 |
| ⑨ | 12月16日（金） | まる一む | そばの実選別 | 参加者4人 |
| ⑩ | 1月20日（金） | まる一む | そばの実選別 | 参加者3人 |
| ⑪ | 2月17日（金） | まる一む | そばの実選別 | 参加者3人 |
| ⑫ | 3月20日（月） | まる一む | そばに実選別 | 参加者4人 |

他、支援者で10月14日（金）NPO法人芹川の河童（彦根市）の見学を実施

5. その他受託事業

（１）障がい児タイムケア事業

（市受託事業）

甲賀市内の障がいのある小中高生等の長期休暇中の活動の場として、夏季休暇期間に10日、春季休暇中に1日の開催となった。今年度は、既存の障がい児者の居場所とタイアップした新たな居場所として開催した。

○サマースクール

【参加者】

参加登録児童・生徒 26人

延べ参加者 児童・生徒49人 きょうだい34人 保護者55人 ボランティア 34人

【開催日・場所・内容】

開催日	内 容	場 所	参加
7/23(土)	「人形劇を観よう！」 人形劇サークル いちごじゃむ	水口交流センター	3 人
7/24(日)	「ミニコンサートを聴こう！」 竹の音 【サロン “スマイルきずな”】	青少年研修センター	3 人
7/30(土)	「手作りお昼・おもちゃで遊ぼう！」 【余暇活動グループさんりんしゃ】	かふか生涯学習館	9 人
7/31(日)	「フラダンスをみよう！」 ヴァアヒラ滋賀	杉谷公民館	1 人
8/ 6(土)	「カレーづくりをしよう！」 【サロン “おいでスマイル”】	土山町南土山 360-3	3 人
8/ 7(日)	「手話ソングを聴いてみよう！」 ささゆりグループ	フィランソ土山	2 人
8/20(土)	「ミニミニ夏祭りを楽しもう！」 【サロン “てとてと”】	水口交流センター	11 人
8/21(日)	「ダンスしてみよう！」 borderless	かふか生涯学習館	7 人
8/27(土)	オカリナ演奏・缶バッジづくり オカリナの森	柞原会館	4 人
8/28(日)	「ミュージックケアを楽しもう！」 【サロン “つどいの会”】	谷川会館	6 人

○春休みをみんなで楽しもう！！（スプリングスクール）

【開催日】3月25日（土）

【場 所】杉谷公民館

【内 容】劇を見よう（劇団ふりいだむ）

ビンゴゲームで楽しもう

【参 加】対象児童・生徒 10 人、きょうだい 9 人、保護者 12 人

ボランティア 15 人

IV. 福祉作業所の運営

新型コロナウイルスの影響もあり、地域住民と協働した事業が少ない中ではあったが、感染症予防対策を講じながら地域連携を意識した取り組みを行うことができた。下請け作業、施設外作業、甲賀市役所内の「すまいるかふえ」の運営に携わり、利用者が増加した中で平均工賃を下げないように努力を行うことができた。

また、今年度からの福祉作業所の基本理念「はたらく・つながる・かなえる」を意識して障がい者支援を行っていくことができた。

1. つちやま福祉作業所

(1) 利用者の状況

【利用者数】就労継続支援B型 15人（定員 20人）（男性：10人 女性：5人）

【利用者住所地】土山町 9人 甲賀町 3人 水口町 3人

【障がい区分】精神：2人 知的：10人 知的・身体：2人 身体：1人

【年間平均通所率】81.8%（前年度 94.4%）

【年間平均工賃】月額 20,079円／1人（前年度 20,012円／1人）

(2) 作業内容

【下請け事業】・滋賀ボルト(株) ボルト・ナットの組み立て

・(有)中島電器製作所 電気部品の組み立て

・倉英工業(株) ゴム製品の穴あけ加工

・(有)名倉紙工 菓子箱の組み立て作業

・(株)JEJ プラスチック製品の加工・封入

【喫茶事業】・すまいるかふえ 喫茶営業（週1日・木曜日担当）

【リサイクル事業】・アルミ缶の回収（区・自治会・企業） (株)がんさん買取

・古紙の回収（区・自治会・企業） (株)農環 ダンボール買取

【物販事業】・物資斡旋販売 そうめん・うどんの販売・配達

・自主事業 米袋リサイクルエコバッグの作成・販売

【その他事業】・市受託事業 トイレ清掃・草刈り業務（年間通じて）

・池田電装(株) トイレ・食堂清掃

・グリーンサポートこうが 草刈り作業

(3) 所内行事

(4月) 休日開所（作業）

(5月) 物販事業（そうめん）

(6月) 休日開所（作業）、給食の日、土山中学校職場体験

(7月) 休日開所（作業）、給食の日

(8月) 休日開所（作業）夏季休暇（13日～15日）

(9月) 休日開所（作業）、三桜草刈り、さすけくらぶ参加

(10月) 休日開所（作業）、三桜草刈り、給食の日

(11月) 健康診断、給食の日、休日開所（作業）、外出支援（買い物）

大野小学校交流会

- (12月) 休日開所、給食の日、忘年会、年末大掃除、年末休暇(30日～31日)
さすけくらぶ参加
- (1月) 書初め・外出支援(初詣)、年始休暇(1日～4日)、休日開所(作業)
給食の日
- (2月) 給食の日、休日開所(作業) さすけくらぶ参加
- (3月) 休日開所(作業)、給食の日

(4) ボランティアの状況

- ・土山町民生委員児童委員協議会障害者部会(リサイクル回収)
- ・大野地区日赤奉仕団(作業所の清掃作業)
- ・作業所支援個人ボランティア(内職・すまいるかふえ・給食・リサイクル)
- ・保護者会(各行事運営)

(5) 実習の状況

- ・土山中学校 職場体験 6月28日から30日

(6) 定例会議等

- ・職員会議(月1回)
- ・サービス調整会議(毎月1回)
- ・各ケース検討会議(随時)
- ・作業所検討部会(毎月1回)
- ・すまいるかふえ会議(毎月1回)
- ・進路調整部会(年3回)
- ・甲賀市障がい者就労支援部会(随時)

(7) 職員の研修等

【職員所内研修】

- ・支援の取り組み、法制度について(つちやま・甲賀両サビ管主催)
- ・発達障がい者の理解(外部講師を招いて)
- ・交通安全研修
- ・障がい者虐待防止研修
- ・労務管理研修
- ・職員研修(法人内外各種研修に参加)

《つちやま福祉作業所事業全体のまとめ》

令和元年度から取り組んでいる朝・終礼時の意見発表の機会の提供も各利用者のみなさんの意識に根付いてきており、積極的に自分の思いを伝える・表現する力が着実にあがってきている。3年度に再開した忘年会については、4年度も感染対策の徹底等を進めながら、開催することができた。自ら意見を伝え、目的のために自分たちにできることを頑張り、実現し

ていくという形をとることについて継続して取り組めた。

就労支援事業ではコロナウイルス等の影響で作業量の波はあった中で、地元の企業から施設外就労の場を頂くことができ、工賃収入のほか、地域の中での相互理解の場づくりにも前進することができた。継続して行っている所内での清掃活動等を通して、仕事だけでなく普段の自分自身の生活力の向上も少しずつだが成果が出始め、各家庭で自分たちでやってみたり取り組みや、今まで外の作業は難しかったのが、中で練習してできたなど、成果が一定見られた。

地域のボランティアとの交流に関しては、4年度もコロナ禍の影響を受け、対策等を講じながらとなったものの、状況を見て受け入れも再開できてきている。継続して「すまいるかふえ」や給食の日、リサイクル事業での継続したつながりの中で、安定した場と機会の提供が行えている。

次年度も地域に開かれた事業所をめざし、利用者個々のニーズに合わせた支援を行いながら、地域の方々との関わりを通して、利用者の暮らす地域とともにある作業所づくりを進めていく。3年度に、利用者が増えたものの、コロナウイルスの関係により通所の継続ができない利用者もあったが、再度通所ができるよう障がい特性に応じたサービスの提供の質の確保に努めている。今後も圏域の中でもニーズが増えてきている方々（重度の方）への対応もできるようになることを目標に努力していきたい。利用者の処遇面でも、増員による工賃の低下がないように、引き続き機会の提供とともに、就労支援事業収入の向上に努める。

2. 甲賀福祉作業所

（1）利用者の状況

【利用者数】就労継続支援B型 33人（定員34人）（男性：21人 女：12人）
（入所者）3月 3人入所 三雲養護学校卒業

【利用者住所地】甲賀町15人 水口町5人 土山町4人 甲南町6人 信楽町2人
湖南市1人

【障がい区分】精神：3人 知的：29人（発達障がい含む） 身体：1人

【年間平均通所率】85.9%（前年度 87.2%）

【年間平均工賃】月額15,902円／1人（前年度平均15,590円）

（2）作業内容

【企業支援による内職】 内職先事業所

- ・田中縫工所（個人事業主） 布団の紐切り・結び
- ・（株）コーガアイソトープ 検品作業
- ・（株）三桜工業 自動車部品の下請け作業
- ・（株）加藤製作所 室外機基盤部品入れ、説明書折り、箱折り
- ・（有）河工 トイレ部品選別

※内職作業を通じて、報告方法や困ったときの伝え方、仕事と余暇の切り替え、自信や達成感、充実感を持ってもらい、それぞれの課題に沿った支援を行っている。

【自主事業】 製菓事業

(製品) : バウムクーヘン (プレーン・ゴマ) メレンゲ・カットバウム (プレーン・ゴマ)
バウムクーキー (プレーン・ゴマ・シナモン) 等

(卸先) : 新名神土山SA、道の駅あいの土山、(有) 甲賀もち工房、JA花野果市等

※近年稀にみる原材料の高騰があり、苦しい事業展開となっている。ロス削減商品として、すまいるバウム・はしっこバウムの販売を限定販売して、製菓事業としてできる限りの努力を行った。

(販売)・命のバトン関連商品の組み立て販売

※命のバトン事業については、受注先の状況により変動する状況であるが、令和4年度も彦根・東近江地域からの注文が多かった。甲賀市内では、ある一定配布されているため新規追加分の注文を受けている。

【喫茶事業】

・喫茶お和しすの事業運営

※地元住民のボランティアの支援を受けて5年、新型コロナウイルスの影響により軽食は中止としているが、主力商品であるコーヒーを中心として、感染症予防対策を行い、継続的に営業を行う事ができた。

・すまいる喫茶

※甲賀市障がい者就労支援部会事業として甲賀市役所別館にて毎週月曜日に担当している。お客様へ「いらっしやいませ」「ありがとうございました」と気持ちよく伝えられるように利用者さんの長所を活かした支援を行っている。他事業所との交流の場ともなっている。

【施設外就労】

・甲賀木の駅プロジェクト 地元ボランティアと薪割作業 週2回

※地元ボランティアの方と協力して薪割り、薪の束づくりを行っている。年々できる作業が増えてきている。

【その他事業】

・リサイクル事業 (町内企業、図書館、市内社協事業所への古紙、アルミ缶回収およびリサイクル庫開放による市内個人からの古紙、アルミ缶の搬入)

※令和2年1月より、海外事情により段ボール価格が下落中 (キロ4円⇒1円)

※より多くの市民の方に、甲賀町内のリサイクルステーションとして認識していただけるようになった。継続した広報活動にも力を入れていきたい。

【清掃業務受託】

・トヨタ紡織清掃

毎週水曜日 祝日も稼働

・甲賀駅舎清掃

週1回 年間48回

・甲賀駅トイレ清掃	週 2 回	年間 96 回
・油日駅清掃	週 1 回	年間 48 回
・杣川トイレ	週 1 回	年間 48 回
・ここもーり、除草作業	6 月, 9 月, 11 月	年間 3 回
・三桜工業(株) 除草作業	9 月, 10 月	年間 2 回
・コーガアイソトープ清掃	週 1 回	11 月より開始
・すこやか荘の清掃業務	毎週水・木曜	1 回 1 人従事
・碧水荘の業務清掃	月 2 回	第 1・3 金曜日

※おもに甲賀市優先調達推進法での委託事業・甲賀市社会福祉協議会内の清掃事業を請け負っている。

(3) 所内行事

- (5 月) 市内スーパーで昼食、飲み物、おやつの買い物
- (6 月) 所内にて映画鑑賞
- (7 月) 所内にて納涼祭
- (9 月) こうかサスケクラブスポーツ出前講座
- (10 月) 所内にてハロウィンパーティー
- (11 月) 甲賀リアル忍者館見学、市内スーパー買い物
- (12 月) 更生保護女性会様よりクリスマス会
所内にてクリスマス会
- (1 月) 田村神社へ初詣
- (2 月) 田村まつり
- (3 月) 慰労会、職員異動・退職 お別れ会

※お誕生日会（毎月）・・・利用者の誕生日月に実施。好きなデザート 1 品。

(4) ボランティアの状況

- ・喫茶お和しすボランティア 火～金（毎回 3～4 人）
- ・薪プロジェクト 毎週月曜日、木曜日（雨天時中止）

※更生保護女性会・日本赤十字奉仕団・民生委員児童委員については、新型コロナウイルス感染拡大の為、今年度ほぼ中止

(5) 実習の状況

三雲養護学校 2 年、3 年 実習受け入れ

(6) 会議等

定例会議等

- ・サービス調整会議（毎月 1 回）
- ・職員会議（毎月 1 回）
- ・ケース会議（不定期 随時）
- ・工賃検討会議（年 1 回）
- ・作業所検討部会（毎月 1 回）
- ・個別支援計画作成会議（年 2 回）
- ・モニタリング会議（年 2 回）
- ・薪定例会（毎月第 1 木曜日）

- ・進路調整部会（年3回）

（7）職員の研修等

- ・障がい者虐待防止研修（甲賀）
- ・サービス管理責任者 実践研修
- ・自閉症について（外部講師）
- ・制度について所内研修（講師：サービス管理責任者）

《甲賀福祉作業所事業全体のまとめ》

令和4年度は、令和3年度同様新型コロナウイルスの影響が引き続きあったが、その状況の中、製菓事業・内職清掃事業・施設外事業共に継続して事業実績を上げることができた。利用者支援では、利用者ニーズに合わせた支援を中心に行っており、地域で安心して障がい者の方が活躍できる場を作ることができた。

令和5年度は、本人・保護者へ将来について話し合いを行い、親亡き後の問題・地域生活についてニーズ調査を行っていく予定である。

V. 医療・介護・福祉連携への取り組み

1. 在宅生活支援部の事業

訪問介護事業・訪問入浴事業・通所介護事業・訪問看護事業・居宅介護支援事業

(1) 在宅看取りケア・認知症支援

① 在宅看取りケアの実践

チームケアの視点で取り組んでいる在宅看取り件数は、延べ 85 人、死亡終了件数の 38.3%（令和 3 年度：41.6%）となった。

○事業別の在宅看取り支援件数

	在宅看取り（件）	死亡終了（件）	在宅看取り率（%）
訪問介護	13	44	29.5
訪問入浴	31	40	77.5
通所介護	1	8	12.5
訪問看護	23	62	37.1
居宅介護支援	17	68	25.0
合計	85	222	38.3

※在宅看取り件数は重複あり

② 認知症キャラバン啓発事業（市受託事業）

「認知症になっても安心して暮らしつづけられる甲賀市」を目標に 5 町エリアごとに認知症サポーター養成講座を開催し、認知症の啓発を実施すると共に、講座を担うキャラバン・メイトの養成研修を 4 年ぶりに開催した。また、登録認知症サポーター制度を展開し、登録サポーターによる認知症の啓発活動も積極的に行った。

- ・認知症キャラバンメイト養成研修受講者数 18 人
- ・サポーター養成講座開催回数・受講者数 22 回・443 人（前年度 15 回・367 人）
- ・登録認知症サポーター登録者数 13 人（累積登録者数 43 人）
- ・登録認知症サポーター延べ活動人数 67 人（前年度 36 人）

③ 認知症カフェ（オレンジカフェ）の開催

デイサービスセンターすこやか荘にて、認知症カフェを開催し、認知症の方やご家族、地域住民の方に居場所の提供を行った。9 月には甲賀市役所長寿福祉課、水口病院職員と協力し、物忘れ相談会を実施した。

- ・オレンジカフェ開催回数 5 回
- ・オレンジカフェ参加者数 参加者 41 名、ボランティアスタッフ 19 人

（２）感染予防対策の取り組み

① 各事業での感染予防対策

全職員が、出勤前の健康チェック・体調確認に努め、事業所内感染拡大防止や利用者の感染予防に努め、事業所内での感染を最小限にとどめ事業継続に努めた。

② 感染者・濃厚接触者へのサービス提供

感染拡大時においては、自宅療養のコロナ感染者や濃厚接触者が増えたが、訪問介護訪問看護サービス提供を継続し、在宅療養支援を行った。

新型コロナウイルス感染症者への訪問	27 人
新型コロナウイルス感染症濃厚接触者への訪問	36 人
新型コロナウイルス感染症濃厚接触者への延べ訪問回数	128 回

（３）介護・看護人材の確保と定着

新たに、パソコンを使用し、写真や動画で PR できるよう取り組んだ。職場や介護業務の魅力を伝えることで、2 名ではあるが人材が獲得できた。

① かいご・ふくし就職説明会への参加

9 月 14 日（水）ハローワーク甲賀 面談者 8 人

② 女性活躍のためのお仕事フェア

1 月 12 日（木）碧水ホール 面談者 8 人 2 人採用

③ 就職フェアへの参加

10 月 24 日（月）水口社会福祉ホール 面談者 2 人

（４）信楽地域包括支援センター事業の運営推進

（市受託）

地域包括ケアシステムの推進のため、信楽地域の特性や実情を踏まえ、地域住民が抱える課題を把握し、高齢者が医療と介護の両方を必要とする場合も、たとえ認知症であっても、可能な限り住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられるよう、地域包括システムの中核機関としての役割が果たせるよう取り組んだ。

① 総合相談業務

・訪問件数 305 件 （新規 152 件）

② 権利擁護業務

- ・虐待対応 新規 4 件 引継ぎケース 13 件中 9 件終了 4 件継続
- ・成年後見制度市長申し立て 新規 1 件
- ・消費者被害防止啓発 8 地域で実施

③ 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

- | | |
|-----------------------|-----|
| ・ケアマネジャーの支援 | 随時 |
| ・居宅介護支援事業所事例検討会の参加・助言 | 随時 |
| ・主任ケアマネジャー会議開催 | 4 回 |
| ・信楽地域ケアマネジャー研修会開催 | 2 回 |

④ 認知症総合支援業務

- | | |
|--------------------------|-----------|
| ・脳トレ教室の啓発 | 1 回 |
| ・認知症キャラバン活動・サポーター養成講座の実施 | 3 回（92 名） |
| ・ポスター作製・掲示による認知症の啓発 | |

⑤ 多機関協働による地域包括支援ネットワークの構築

- | | |
|----------------------------|-----|
| ・小地域ケア会議（課題解決型）開催 | 3 件 |
| ・小地域ケア会議（自立支援型）開催 | 9 件 |
| ・グループホーム笑楽運営推進会議 委員として参画 | 4 回 |
| ・包括ケアネットワークしがらき（多職種連携）会議開催 | 2 回 |
| ・第二層協議体 委員として参画 | 6 回 |
| ・信楽中央病院との連携会議 開催 | 1 回 |
| ・地域の見守り会議 参加 | 4 回 |

⑥ 介護予防・日常生活支援事業の推進

- | | | | |
|----------------|------|-----------|-----|
| ・100 歳体操立ち上げ支援 | 2 件 | 立ち上げ後フォロー | 3 回 |
| ・100 歳体操筋力測定 | 13 件 | | |
| ・介護予防普及啓発事業 | 28 回 | | |

2. 訪問介護事業

○法令遵守

指定居宅サービス事業者指定更新

指定期間 令和 4 年 10 月 1 日～令和 10 年 9 月 30 日

ヘルパーステーションみなくち

ヘルパーステーションこうか

ヘルパーステーションしがらき

○介護職員等ベースアップ等支援加算 10 月 1 日～

○喀痰吸引特定事業所

- ・認定特定行為業務従事者研修、実習を受講

第三号研修 職員 3 人 取得

痰吸引認定訪問介護員 4 事業所 計 18 人 (3.31 現在)

体制強化を図り資格を持った職員が事業所枠を超えて訪問、また特定の利用者への吸引・経管栄養を実施し医療依存度の高い方の在宅生活の継続を支援

○認知症対応力向上に向けた研修を受講

- ・認知症介護基礎研修 4 人 (計 29 人)

○利用者、職員双方が安全で安心な介護の実施に向けた研修を受講

- ・抱え上げない介護入門研修 7 人
- ・抱え上げない介護実践研修 2 人

○職員研修

- ・各事業所において、資質向上を目的とした研修を毎月実施
- ・職場環境の改善による職員の定着確保に向け「抱え上げない介護」を実施

○各種会議への委員参画

- ・甲賀市介護人材確保定着促進協議会：委員として参加
- ・甲賀市介護アドバイス事業：在宅介護コーディネーターとして 6 人を派遣
- ・滋賀県難病対策推進協議会：委員として参加
- ・介護サービス担い手養成研修：実地研修事業所として参画 (2 月 9 日)

安否確認安心ダイヤル事業の実施

事業所名	利用者数 (人)	電話回数 (回)	訪問回数 (回)
みなくち	5	113	6
つちやま	0	0	0
こうか	12	365	0
しがらき	12	157	0
計	29	635	6

① 事業運営状況

○事業所別 年間訪問介護 (介護給付) 利用状況

事業所名	利用者数 (人)	利用回数 (回)	一人当たり 平均利用回数
みなくち	719	9,847	13.7
つちやま	674	9,474	14.1
こうか	610	11,419	18.7

しがらき	628	11,193	17.8
計	2,631	41,933	15.9
月平均	219	3,494	16.0

○事業所別 年間訪問介護（総合事業）利用状況

事業所名	利用者数（人）	利用回数（回）	一人当たり 平均利用回数
みなくち	192	834	4.3
つちやま	86	478	5.6
こうか	98	499	5.1
しがらき	84	420	5.0
計	460	2,231	4.9
月平均	38	185.9	4.9

○障害別自立支援給付年間利用状況

障がい種別	利用者数（人）	サービス区分	利用回数（回）
身体	176	身体	3508
知的	129	身体生活	407
児童	0	生活	590
精神	150	同行	131
難病	12		
視力	75		
合計	542	合計	4,636
月平均	45	月平均	386.3

○甲賀市受託事業・保険外サービス年間利用状況

	利用者数（人）	利用回数（回）	平均人数・回数 (人) / (回)
甲賀市介護特別給付事業	17	169	1.4 / 14
甲賀市ひとり親家庭家事援助派遣事業	0	0	0 / 0
介護保険外サービス事業	84	167	7.0 / 13.9

3. 訪問入浴事業

○法令遵守

指定居宅サービス事業者指定更新

指定期間 令和4年10月1日～令和10年9月30日

○介護職員等ベースアップ等支援加算 10月1日～

○職員研修

- ・資質向上を目的とした内部研修を毎月実施
- ・訪問入浴に特化したデベロ外部研修受講
- ・甲賀市在宅介護基礎研修受講

○アンケート調査

- ・サービスの質向上にむけて、利用者ニーズの把握調査実施

○在宅看取り率

サービス提供開始から終了まで短期間利用が今年度も多く、在宅看取り率は77.5%（前年度60%）

① 事業運営状況

○訪問入浴（介護給付）年間利用状況

事業所名	利用者数（人）	利用回数（回）	一人当たり 平均利用回数
湯ステーション	424	1876	4.4
月平均	35	156	4.4

○甲賀市身体障害者入浴サービス事業年間利用状況

事業所名	利用者数（人）	利用回数（回）	一人当たり 平均利用回数
湯ステーション	40	245	6.1
平均	3	20	6.7

4. 通所介護事業

○新型コロナウイルス陽性者発生による感染拡大予防の対応

- ・8月19日（金）～24日（水） 陽性者 利用者：3名、職員：3名
休業：8月19日（金）～22日（月）（3日間）
- ・12月9日（金）～23日（金） 陽性者 利用者：10名、職員：2名
休業：12月15日（木）～19日（月）、12月24日（土）（5日間）
- ・総合支援事業 12月～2月まで感染予防対策のため休業（3月より再開）

○ICT活用

ICT導入補助金を受けて、タブレット、インカム導入。業務効率化への取り組み促進。

○甲賀市介護サービス事業者協議会 事務局担当

○感染対策のもと年間行事の実施

- ・お花見、敬老会、年忘れ会、しめ縄作り、豆まき

○利用者の社会参加・地域交流

- ・認知症カフェ参加 5回
- ・地域のサロンに出向き体操教室開催 2回

○自立支援への取り組み

- ・個別目標の実施のための評価・モニタリング
- ・BI 評価のための研修実施

○看取り・認知症支援

- ・認知症カフェの開催 計5回
- ・在宅看取り支援のため、時短利用での受け入れ、看護師同乗体制など柔軟な対応を実施

○防災関係

- ・避難訓練の開催 年2回 (防災訓練、水消火器実施、DVD研修)

○アンケート調査

利用者、居宅介護支援事業所へ満足度および今後のサービス向上のためのアンケートを実施、集計の配布

○その他

- ・消防設備点検、ボイラ一点検
- ・脱衣室床水漏れ修繕
- ・床暖配管、ボイラー室配管老朽化による漏水修繕
- ・温水洗浄便座交換 (身障トイレ)

① 事業運営状況

○通所介護（介護給付）年間利用状況

事業所名	利用者数（人）	利用回数（回）	一人当たり 平均利用回数
すこやか荘	765	7,160	9.4

○通所介護（予防給付・総合事業）年間利用状況

事業所名	利用者数（人）	利用回数（回）	一人当たり 平均利用回数
すこやか荘	145	607	4.2

○1日平均通所者数（介護給付・予防給付・総合事業の合計数）

事業所名	利用者数（人）	利用定員（人）	通所率（%）
すこやか荘	26	35	74.2

※（開所日数 300日）

5. 訪問看護事業

○法令遵守

- ・指定居宅サービス事業者指定更新
- ・指定期間 令和4年10月1日～令和10年9月30日

○ICT活用

- ・ICT導入補助金を受けて、タブレット導入

○滋賀県立総合保健専門学校看護学科生の臨地実習

7月26日（火）・7月28日（木）	1年生	3人×2日	延べ6人
10月14日（金）～10月26日（水）	3年生	3人×7日	延べ27人
11月7日（月）～11月17日（木）	3年生	3人×7日	延べ27人

○他法人デイサービスへの連携訪問

- ・連携回数 257回

○24時間緊急電話対応

- ・総回数 646回（前年度回数：437回 前年比148%）

○コロナ感染自宅療養者の観察業務（県委託）

- ・訪問回数 4回 電話での観察業務 15回

○各種会議への委員参画

- ・甲賀市地域ケア会議：高齢者虐待個別ケース検討委員
- ・甲賀市介護認定審査会：審査委員

○全看護師参加の技術研修（内部研修）

- ・医療機器について、抱えない介護 6月16日（木）
- ・困難事例検討会 7月28日（木）、2月20日（月）

① 事業運営状況

○訪問看護年間利用状況

事業分類	利用者数（人）	利用回数（回）	一人当たり 平均利用回数
介護給付	1,237	5,174	4.2
予防給付	142	367	2.6
その他	159	546	3.4
計	1,538	6,087	4.0
月平均	128	507	4.0

6. 居宅介護支援事業

○社協ケアプランセンター災害時の対応力向上の取り組み

- ・在宅生活支援部の事業所、地域福祉活動センターも参加し、防災研修を計画・実施
9月8日（木）参加者 33人（うちケアマネジャー 20人）
- ・事業所ごとに、災害時のケアマネジャー対応が適切に行えるよう勉強会を実施
- ・事業所ごとに安否確認リストを作成できた。

○社協ケアプランセンター研修会開催

- ・3月2日（木）参加者 20人
- ・各ケアマネジャーが実践報告を行い、自立支援のあり方について学びを深めた。
- ・重層的体制整備事業について、社協担当者より説明。

○各種会議への委員参画、研修講師の派遣

- ・介護保険運営協議会
- ・滋賀県看護協会研修への講師派遣

○利用者、住民への在宅看取りの啓発を継続し、令和4年度は、社協利用者ケアプラン死亡終了者のうち、25.0%（前年度 30.3%）の方を在宅で看取支援した。

① 事業運営状況

○居宅介護支援事業実績状況

事業所名	利用者数（人）	認定調査（件）	介護予防サービス ・支援計画（件）
ぬくもり	2,742	141	323
あい	1,772	159	333
しがらき	2,293	162	416
合計	6,807	462	1,072
月平均	567	39	89

